NetIQ AppManager Operator Console の Windows 7, Windows Server 2008 R2 へのインストール手順書

第 1.1 版 2012/02/27

目次

はじめに 3

環境と構成 4

Operator Console のインストール 5

Windows 7 デスクトップ環境へのインストール 5

Windows 7 XP モードへのインストール (Windows 認証) 18

Windows 7 XP モードへのインストール (SQL 認証) 34

Windows Server 2008 R2 デスクトップ環境へのインストール 50

Operator Console の更新 62

NetIQ AppManager 7.0J Service Pack 1 と日本語パラメータの適用 62

Operator Console のアドインでの制限 68

Windows 7, 2008 R2 でサポートされない Response Time モジュール 68

はじめに

NetIQ AppManager 7.0J をお使いのお客様が、NetIQ AppManager 7.0J Windows Components から日本語版 Operator Console を Windows 7 Professional / Ultimate / Enterprise, Windows Server 2008 R2 (server core を除く) 各エディションにインストールするための手順をまとめたものです。

環境と構成

目的

AppManager 7.0J リリース時には、Operator Console は Windows 7, 2008 R2をインストール対象としておりませんでした。 2014 年 4 月 8 日には Microsoft 社の Windows XP SP3 に対する延長サポートも終了するため、Windows 7, 2008 R2 での Operator Console の利用が避けらないものとなってきました。

本ドキュメントでは Windows 7 および Windows Server 2008 R2 に Operator Console をインストールいただき、更新モジュールを適用いただく手順をご紹介いたします。

必要な環境

1. Windows 7 Professional / Ultimate / Enterprise SP1 の内いずれかのエディションと Windows XP Mode またはWindows Server 2008 R2 (フルインストールの形態のみ)
2. Microsoft SQL Server の認証が Windows 認証の場合、同一ドメインに参加できるネットワーク

＊ Windows 7 Basic / Home Premium 各エディションは Windows XP mode を提供しておらず、またコンピュータをドメインに追加できませんので、インストール対象ではございません。リポジトリ データベースとしてご利用いただくMicrosoft SQL Server 2008 (R2) やWindows SQL Server 2005 (R2) ではサーバー認証をWindows認証モードでお使いになることをおすすめします。

インストールを行う構成

1. Windows 7 と Windows 認証のリポジトリ データベース
2. Windows XP Mode と Windows 認証のリポジトリ データベース
3. Windows XP Mode と SQL 認証のリポジトリ データベース
4. Windows Server 2008 R2 と Windows 認証のリポジトリ データベース

更新モジュールの適用

1. AppManager 7.0J Service Pack 1 の適用
2. Hotfix 73148 の適用

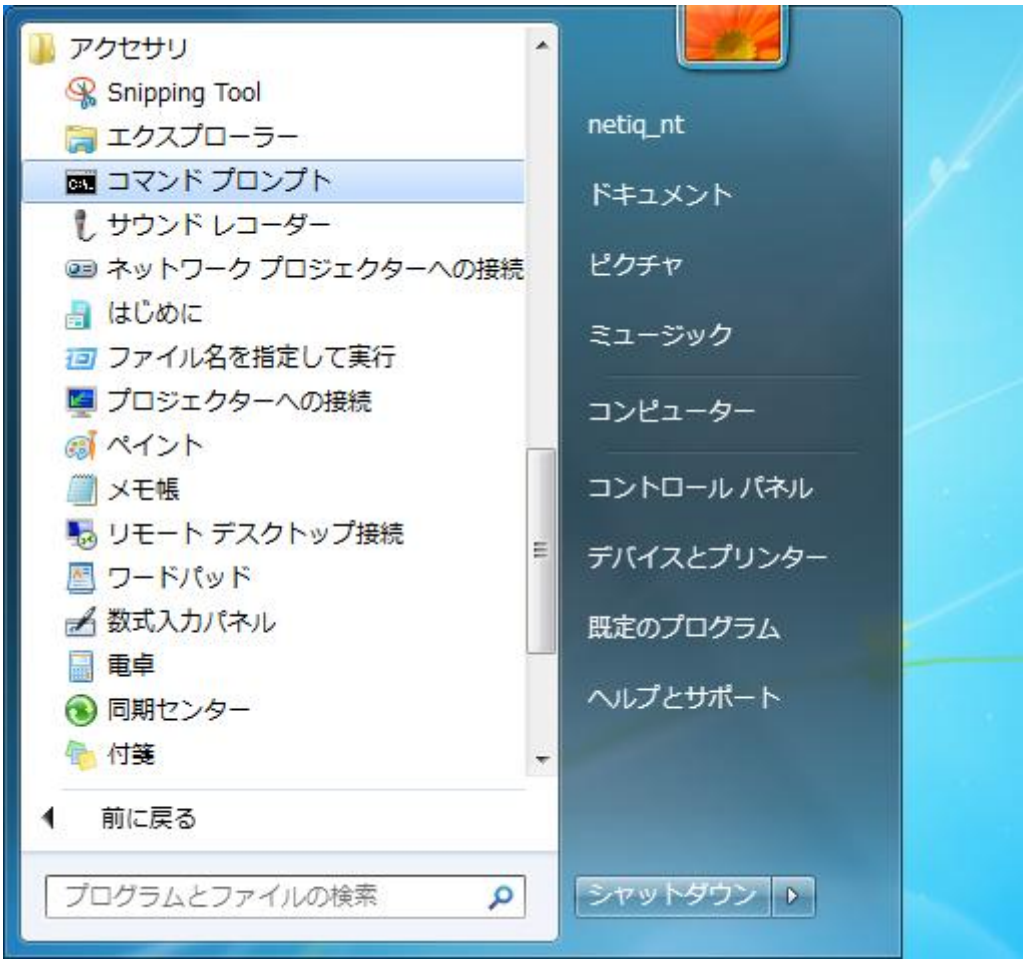
アドインでの制限

1. Windows 7, 2008 R2 でサポートされない Response Time モジュール

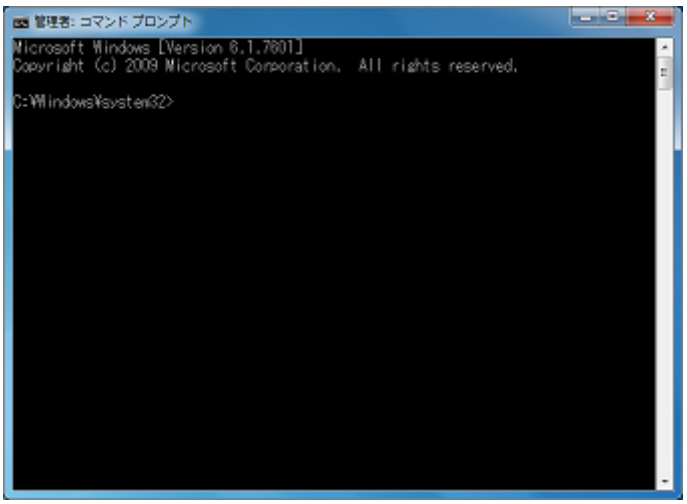
Operator Console のインストール

Windows 7 デスクトップ環境へのインストール

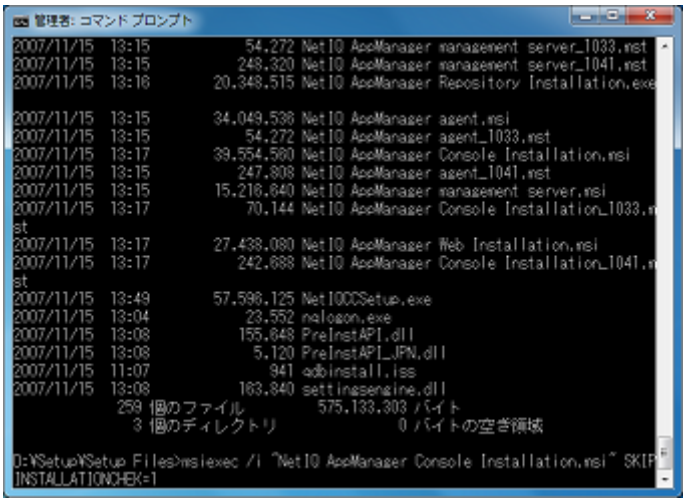
1. ［スタート］メニューから［アクセサリ]-[コマンド プロンプト］を選択、マウス右ボタンをクリックいただき、[管理者として実行]をクリックします。



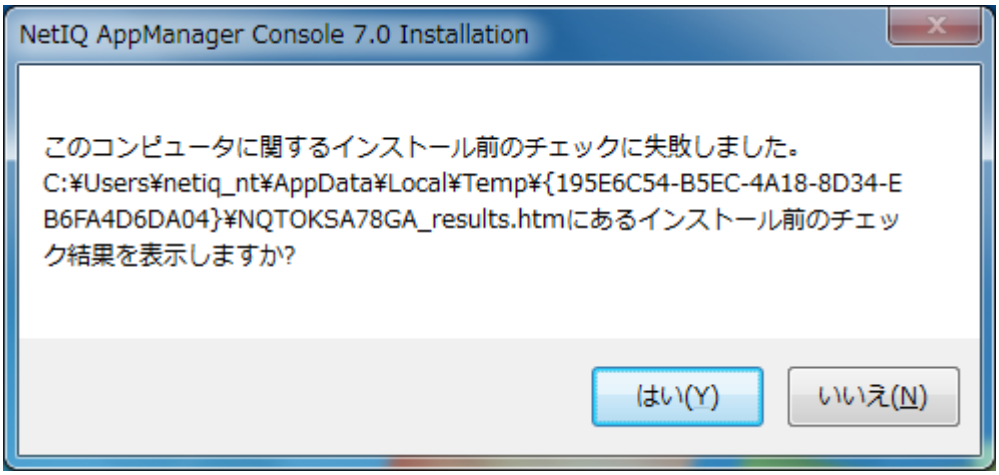
2. ウィンドウのタイトルが［管理者:コマンド プロンプト］となっており、%SystemRoot% に移動していることをご確認いただき、製品 CD-ROM をコンピュータに挿入します。



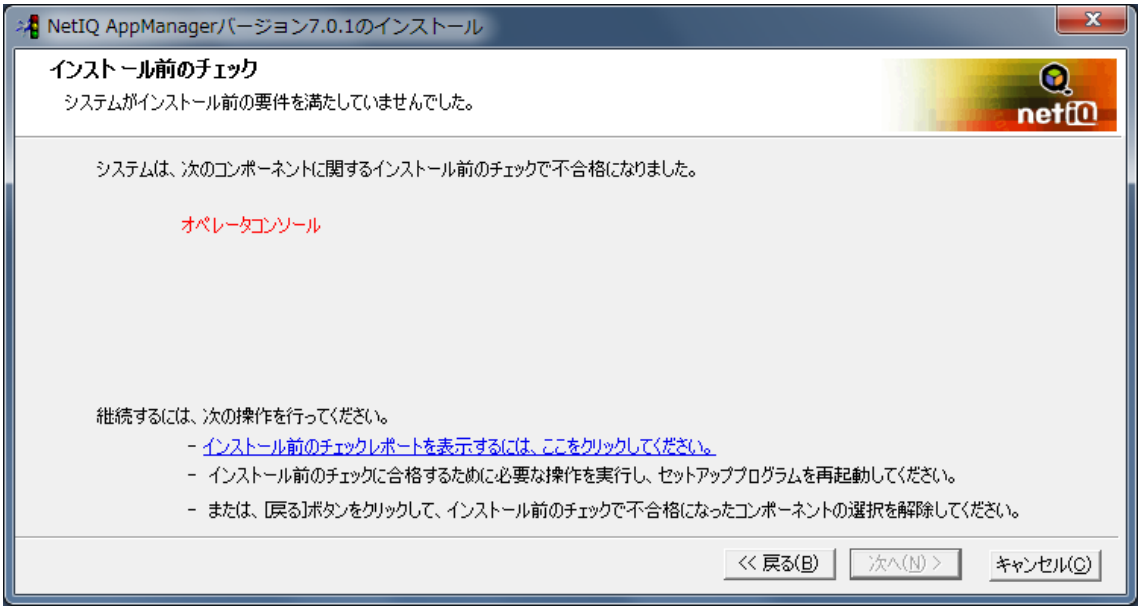
3. 製品 CD-ROM 挿入時の自動再生は行わず、コマンド プロンプトから製品 CD-ROM 内 Setup¥Setup Files フォルダに移動します。 コマンド msiexec /i "NetIQ AppManager Console Installation.msi" SKIPINSTALLATIONCHECK=1 を実行します。



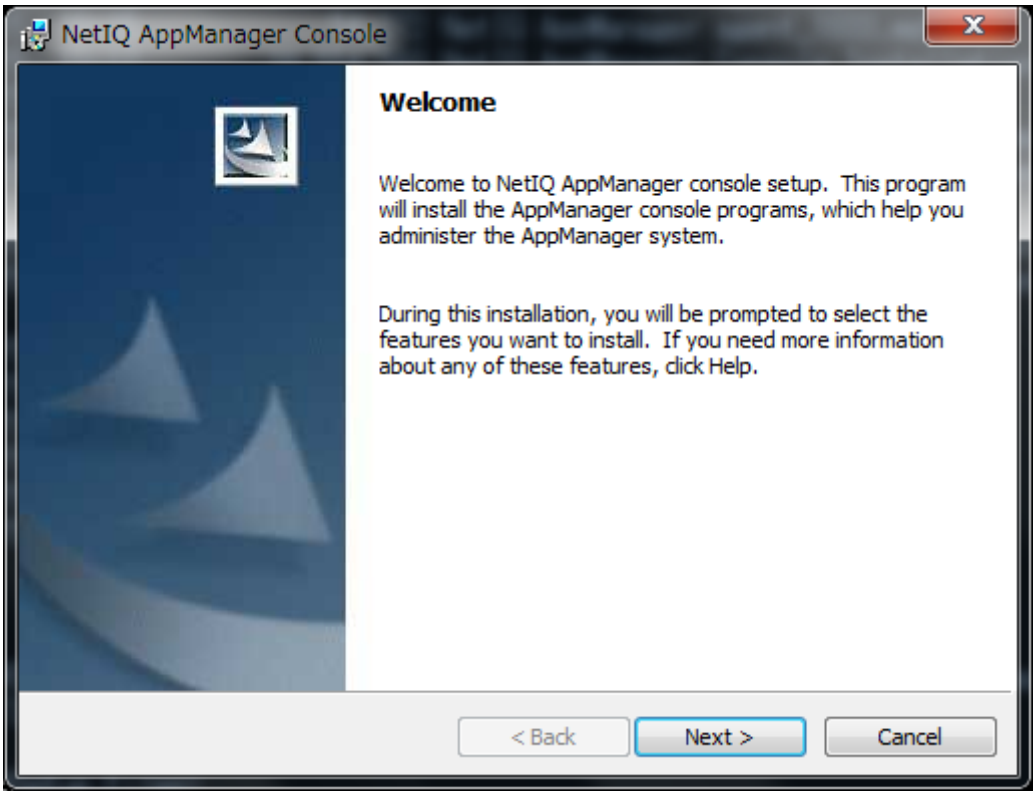
＊　SKIPINSTALLATIONCHECK=1引数を設定しなかった場合には次のエラーとなりインストールを実施できません。



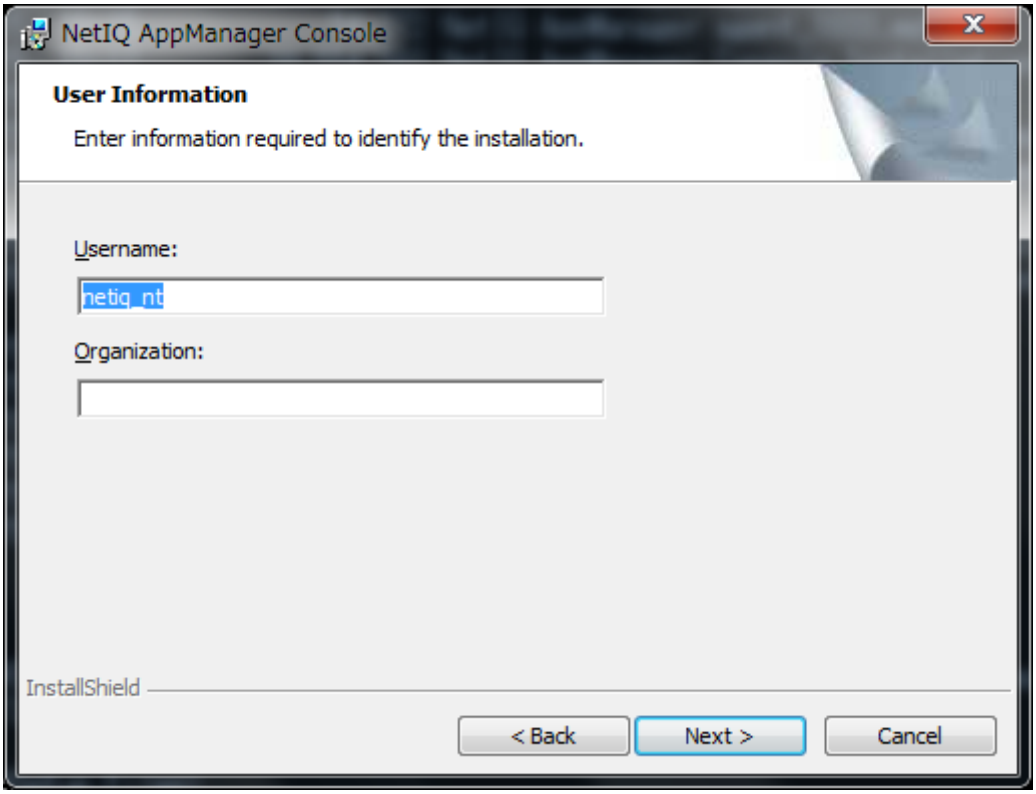
ブラウザからセットアップを実行した場合も同様に次のエラーが発生し、インストールができません。

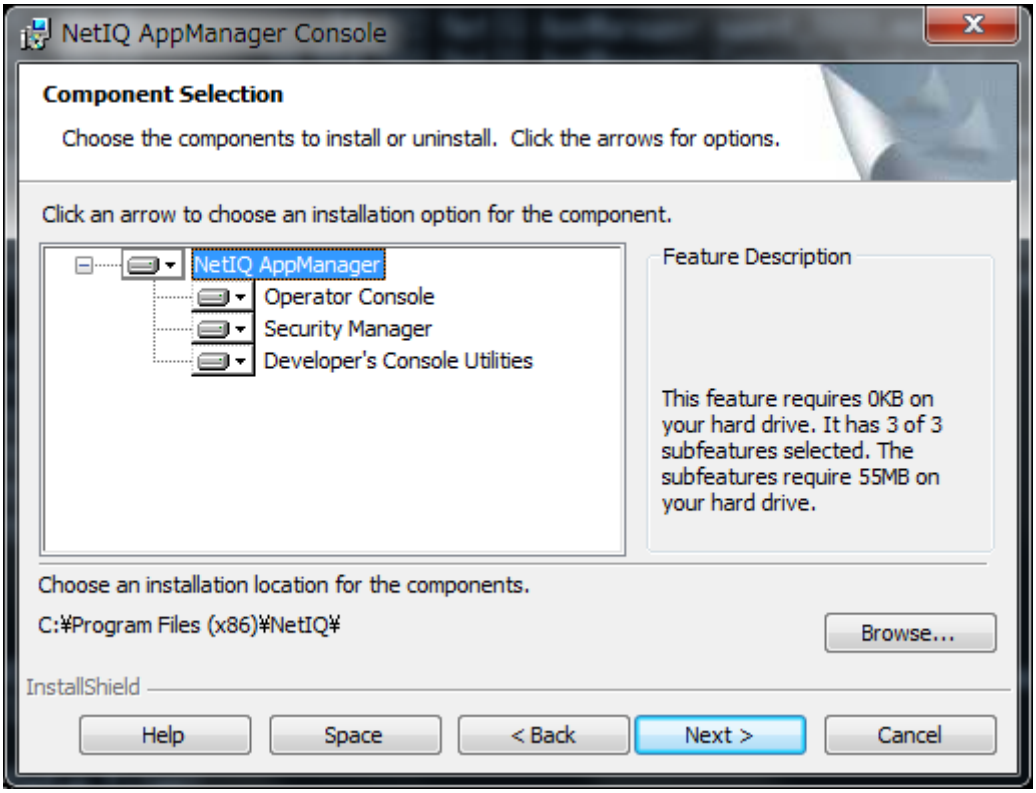


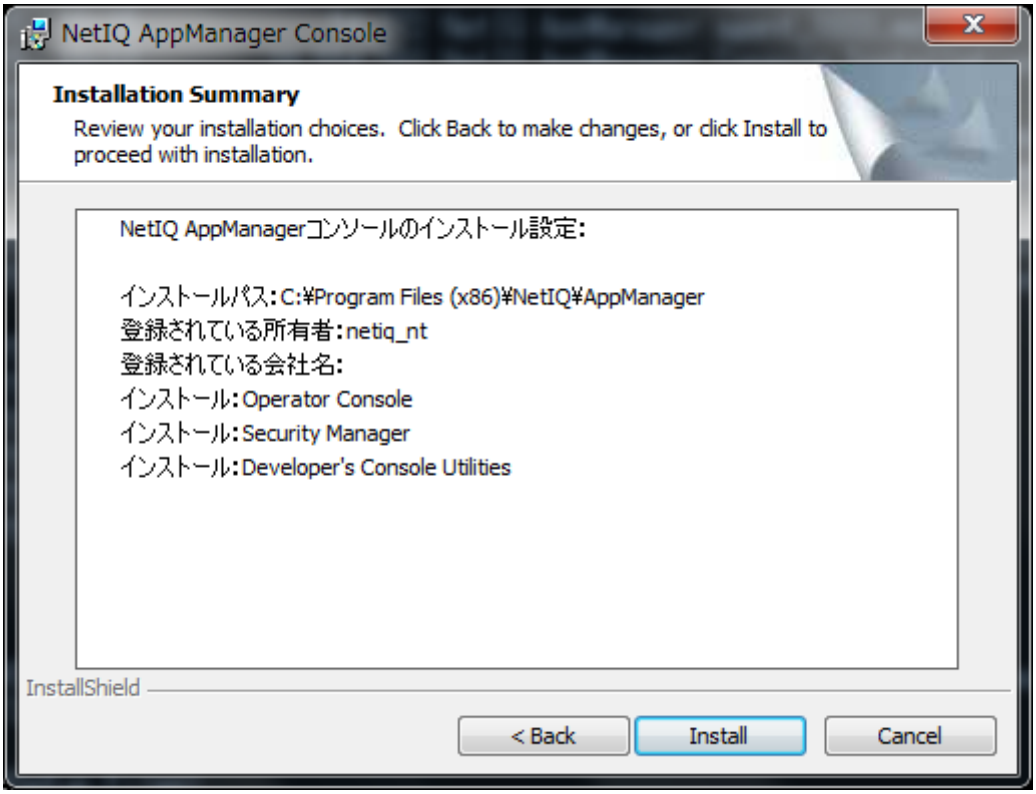
4. Welcome 画面が表示されますので、指示に従ってインストールを実行します。

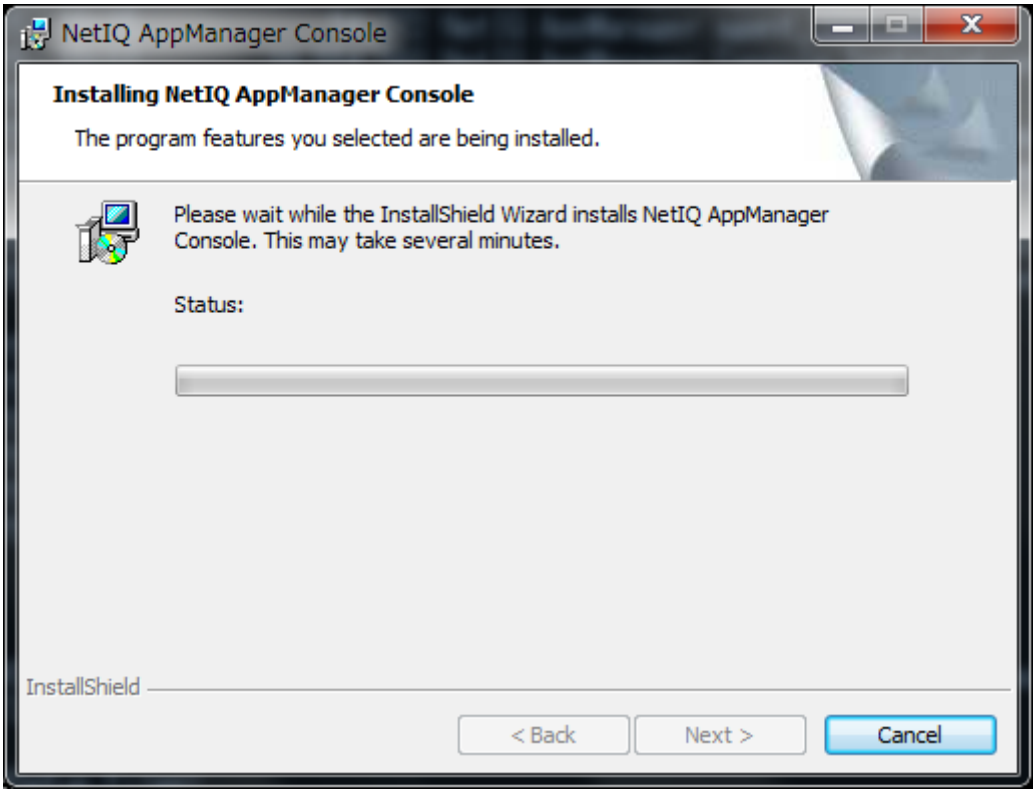


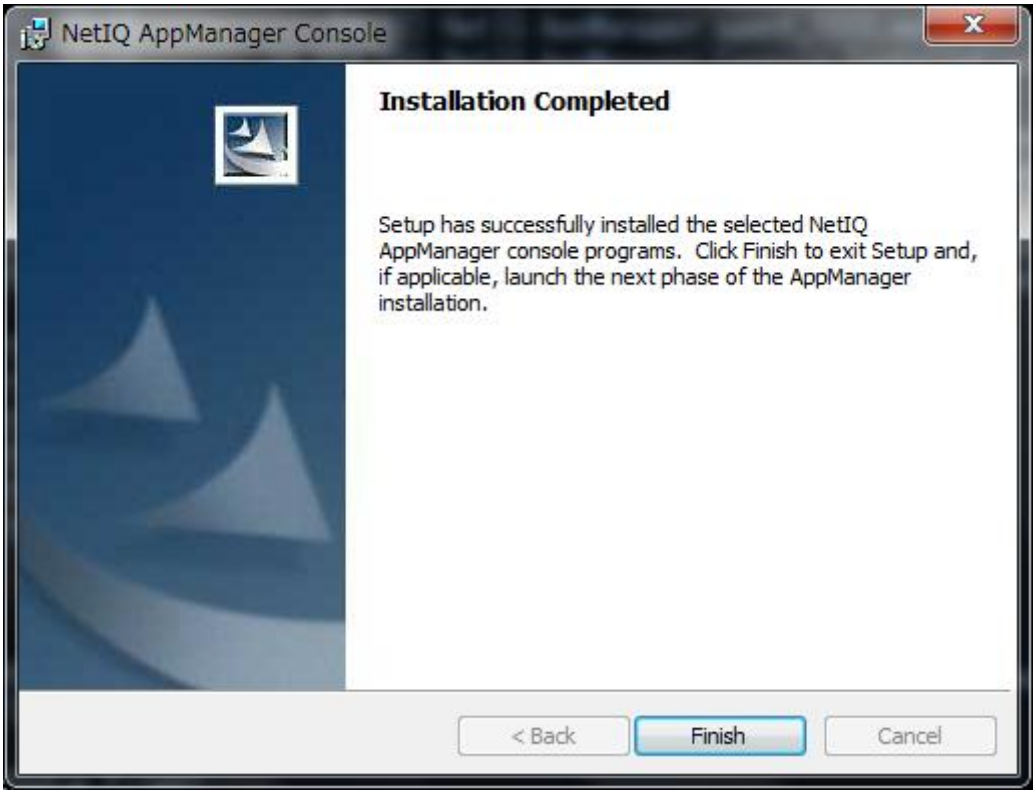



NetIQ AppManager Console
User Information
Enter information required to identify the installation.
Username:
netiq_nt
Organization:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel


NetIQ AppManager Console
Component Selection
Choose the components to install or uninstall. Click the arrows for options.
Click an arrow to choose an installation option for the component.
NetIQ AppManager
Operator Console
Security Manager
Developer's Console Utilities
Feature Description
This feature requires 0KB on your hard drive. It has 3 of 3 subfeatures selected. The subfeatures require 55MB on your hard drive.
Choose an installation location for the components.
C:¥Program Files (x86)¥NetIQ¥
Browse...
InstallShield
Help
Space
< Back
Next >
Cancel


NetIQ AppManager Console
Installation Summary
Review your installation choices. Click Back to make changes, or click Install to proceed with installation.
NetIQ AppManagerコンソールのインストール設定:
インストールパス:C:¥Program Files (x86)¥NetIQ¥AppManager
登録されている所有者:netiq_nt
登録されている会社名:
インストール:Operator Console
インストール:Security Manager
インストール:Developer's Console Utilities
InstallShield
< Back
Install
Cancel

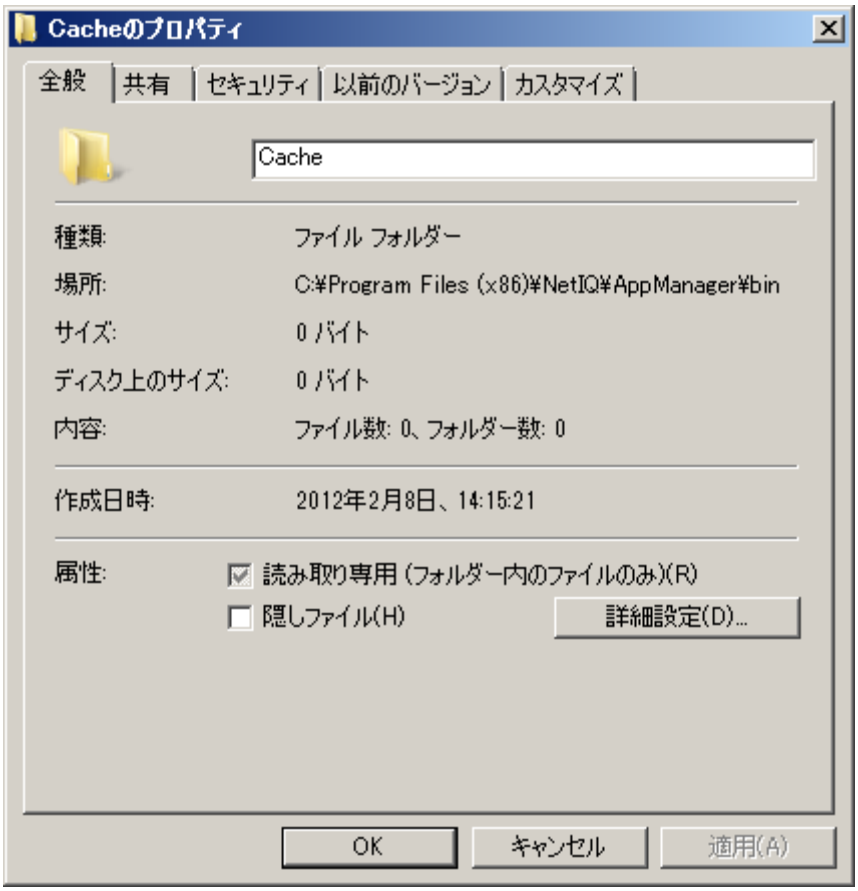

NetIQ AppManager Console
Installing NetIQ AppManager Console
The program features you selected are being installed.
Please wait while the InstallShield Wizard installs NetIQ AppManager Console. This may take several minutes.
Status:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

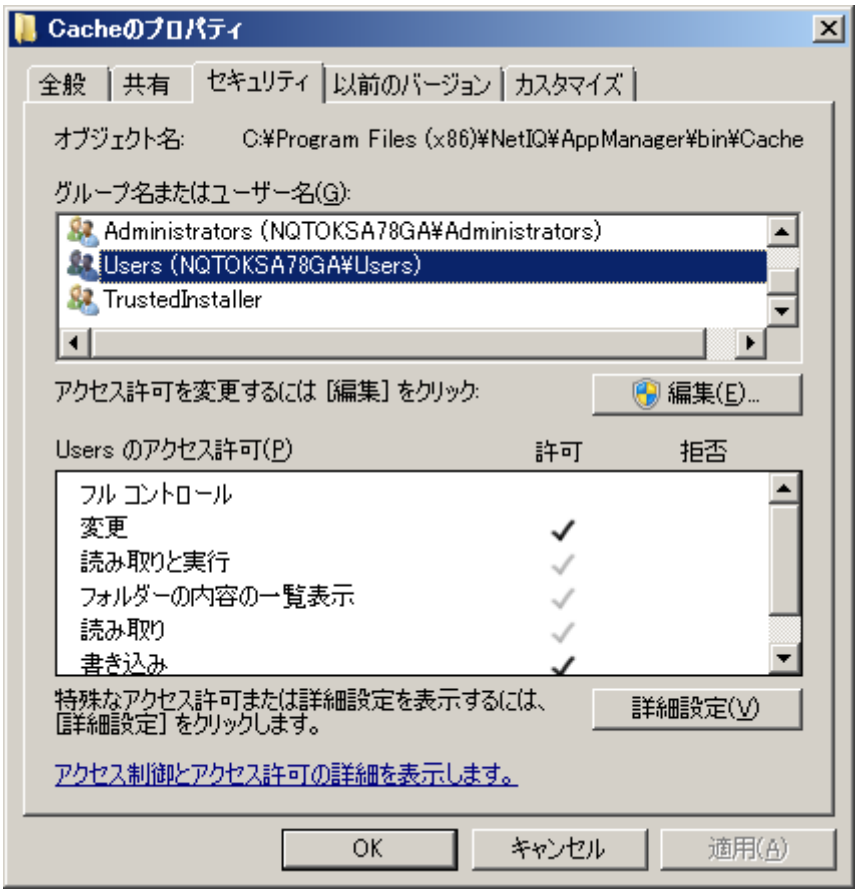

NetIQ AppManager Console
Installation Completed
Setup has successfully installed the selected NetIQ AppManager console programs. Click Finish to exit Setup and, if applicable, launch the next phase of the AppManager installation.
< Back
Finish
Cancel

5. [コントロール パネル]-[デスクトップのカスタマイズ]-[個人設定]を起動し、[Windows クラシック]をテーマとして選択、適用します。Operator Console 利用時に表示される各 Window 下部に表示されるボタンの一部が枠にかかることを避けるためです。

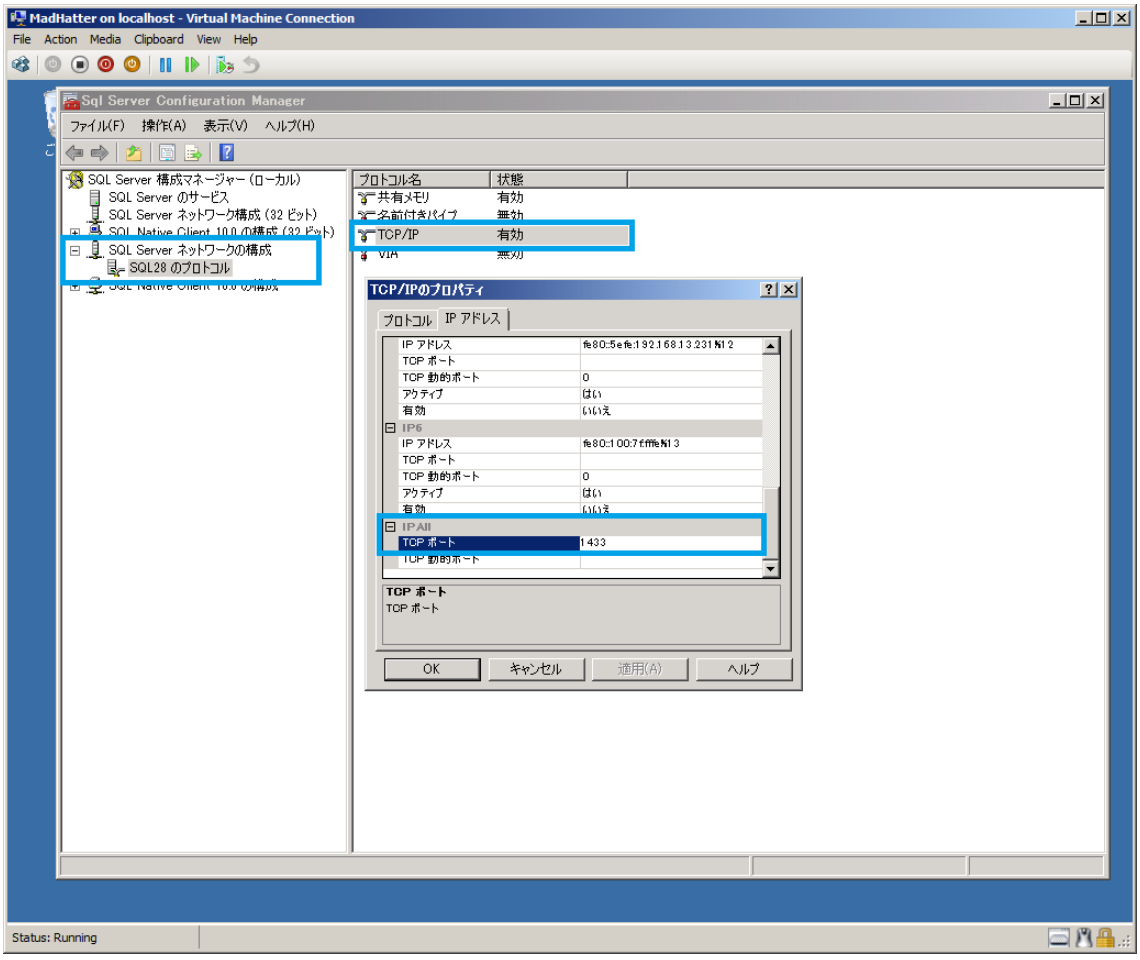


6. Explorer を起動いただき、インストール フォルダ以下 NetIQ¥AppManager¥bin フォルダに Cache フォルダを作成します。作成したCacheフォルダのプロパティを開き、[セキュリティ] をクリック、[グループ名またはユーザー名]で Users を選択、[編集] を開き、[変更] [書き込み] を許可します。 拒否が優先されますので、ポリシーを適用されている場合にはご注意ください。

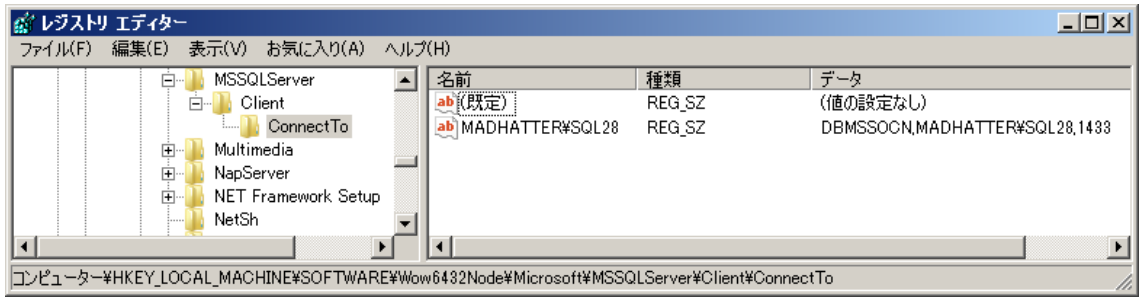



Cacheのプロパティ
全般
共有
セキュリティ
以前のバージョン
カスタマイズ
オブジェクト名:
C:¥Program Files (x86)¥NetIQ¥AppManager¥bin¥Cache
グループ名またはユーザー名(G):
Administrators (NQTOKSA78GA¥Administrators)
Users (NQTOKSA78GA¥Users)
TrustedInstaller
アクセス許可を変更するには [編集] をクリック:
編集(E)...
Users のアクセス許可(P)
許可
拒否
フル コントロール
変更
読み取りと実行
フォルダーの内容の一覧表示
読み取り
書き込み
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示するには、
[詳細設定] をクリックします。
詳細設定(V)
アクセス制御とアクセス許可の詳細を表示します。
OK
キャンセル
適用(A)

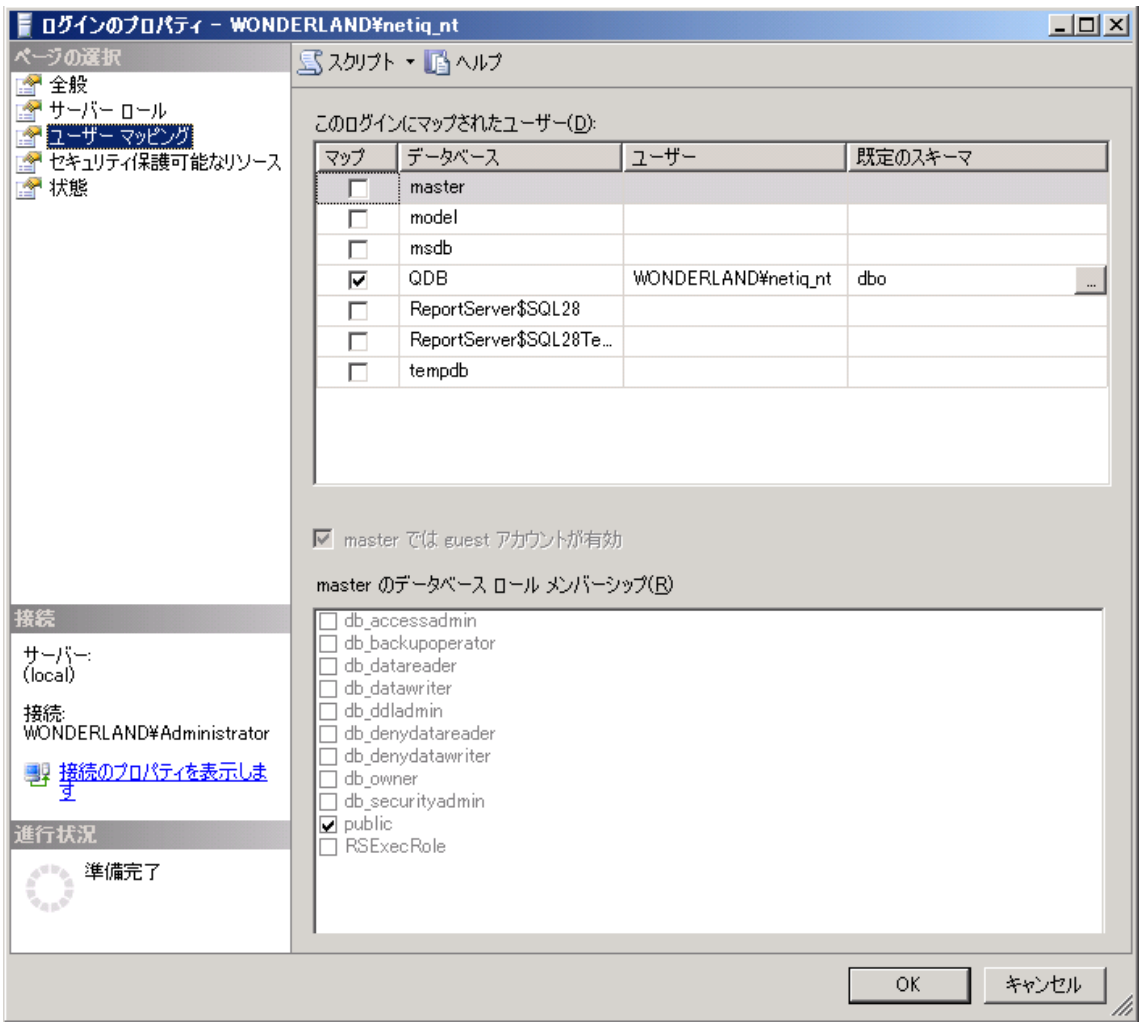
7. Regedit を起動し、リポジトリ データベース サーバへのクライアント設定を構成します。Windows 7 が X86_64 bit 版の場合 [HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Microsoft¥MSSQLServer¥Client¥ConnectTo] となり、x86_32 bit 版では [HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ Microsoft¥MSSQLServer¥Client¥ConnectTo] のキーを作成し、SQLサーバ名¥名前付きインスタンス名 の値を REG_SZ 型で新たに作成します。データは DBMSSOCN,SQLサーバ名¥名前付きインスタンス名,SQLServerの固定TCPポートです。リポジトリ データベース サーバの Microsoft SQL Server 構成マネージャにて SQL Server のTCPポートの確認と構成をしていただけます。



インストールいただくマシンから DNS または ローカルな hosts ファイルにてリポジトリ データベース サーバの名前解決ができることを事前にご確認ください。



8. Windows 認証で使用するアカウントの既定のスキーマは dbo となるように事前に SQL Server Management Studio にて設定してください。



9. リポジトリデータベースに db_owner 以上の権限を有するアカウント(saやAdministrator)を使用して［スタート］メニューから［NetIQ]-[AppManager]-[Tools & Utilities]-[Security Manager］起動します。AppManagerグループが、Administrator , Read-Only User , Standard User の表記でない時には一度 Security Manager を終了し、グループ名を調整します。



SQL Server Management Studio にて

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Administrator' where RoleName like '管理者'

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Standard User' where RoleName like '一般ユーザー'

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Read-Only User' where RoleName like '読み取り専用ユーザー'

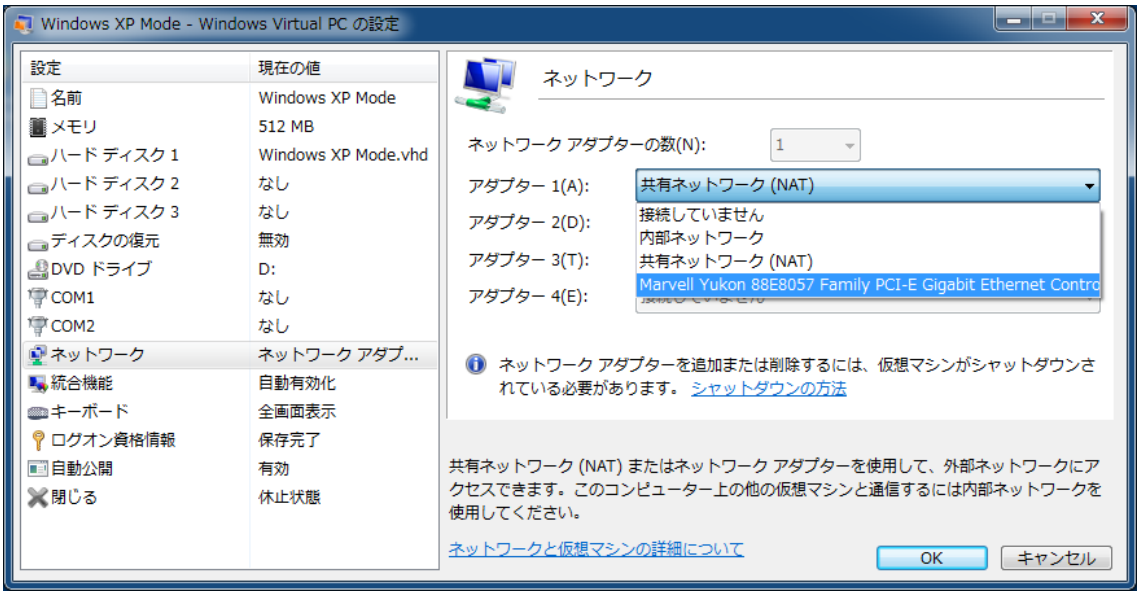
の Update 文を実行した後に、もう一度 Security Manager を起動します。

10. AppManager ユーザーをクリック、ユーザーの設定にてSQLユーザーをAppManagerユーザーに追加し、Administrator グループとします。
11. ［スタート］メニューから［NetIQ]-[AppManager]-[Operator Console］を起動します。Microsoft SQL Server のセキュリティが Windows 認証となっており、それにリポジトリ データベースをインストールされた場合には同じドメインに参加している PC でないと Operator Console はリポジトリデータベースにログオンできませんので、ご注意ください。

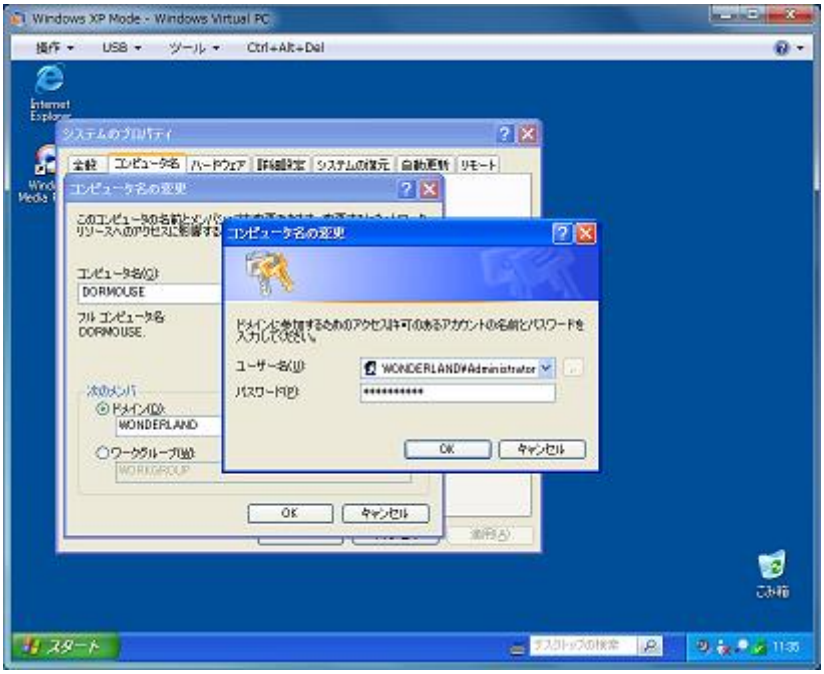


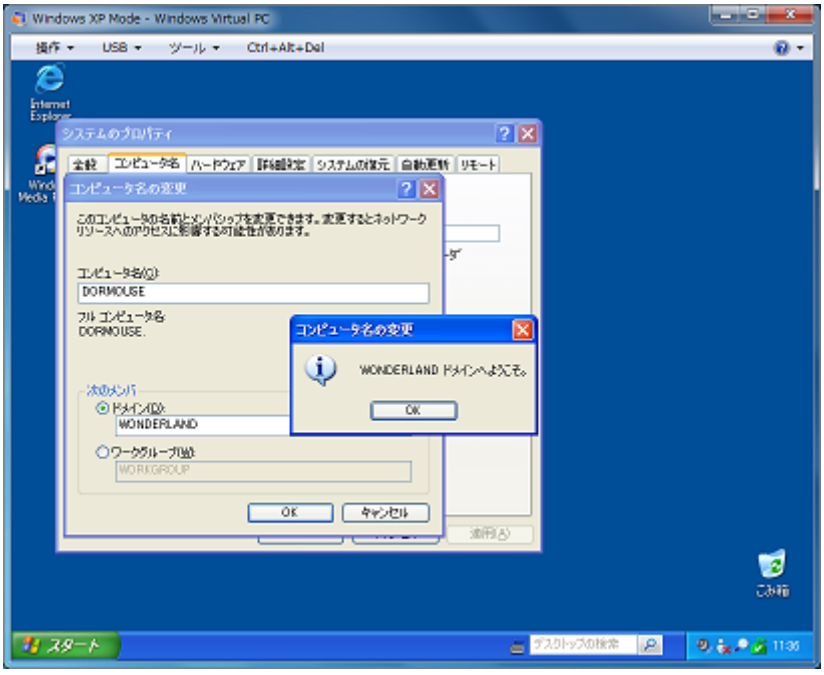
Windows 7 XP モードへのインストール（Windows 認証）

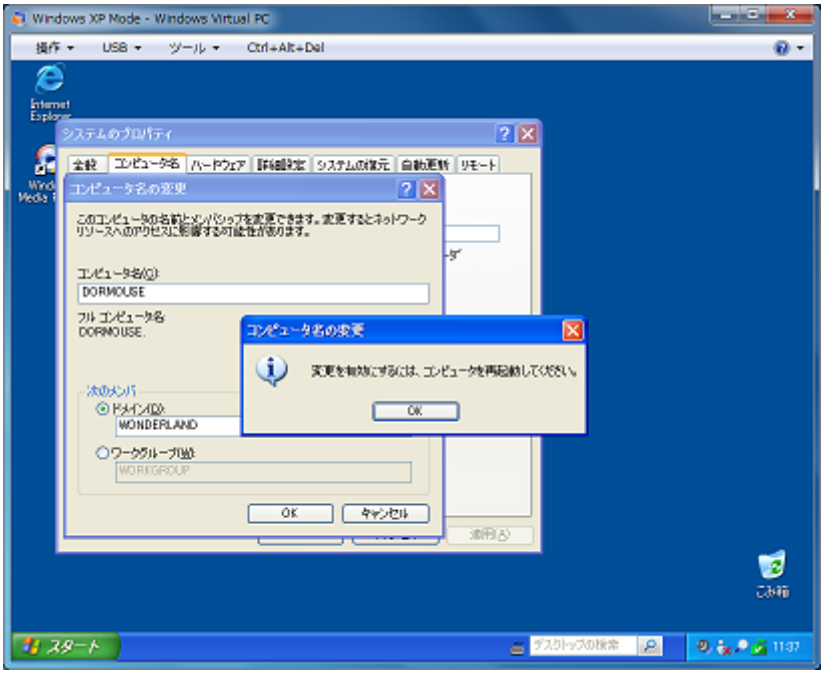
1. Microsoft 社 Windows 7 のダウンロード（ http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows/downloads/windows-7 ）より Windows XP Mode を取得、インストールします。インストール後には Windows Update にて最新の状態にしてください。
2. Windows XP Mode を起動し、仮想環境のネットワークにてアダプターを物理 NIC に選択しなおし、ブリッジに変更します。



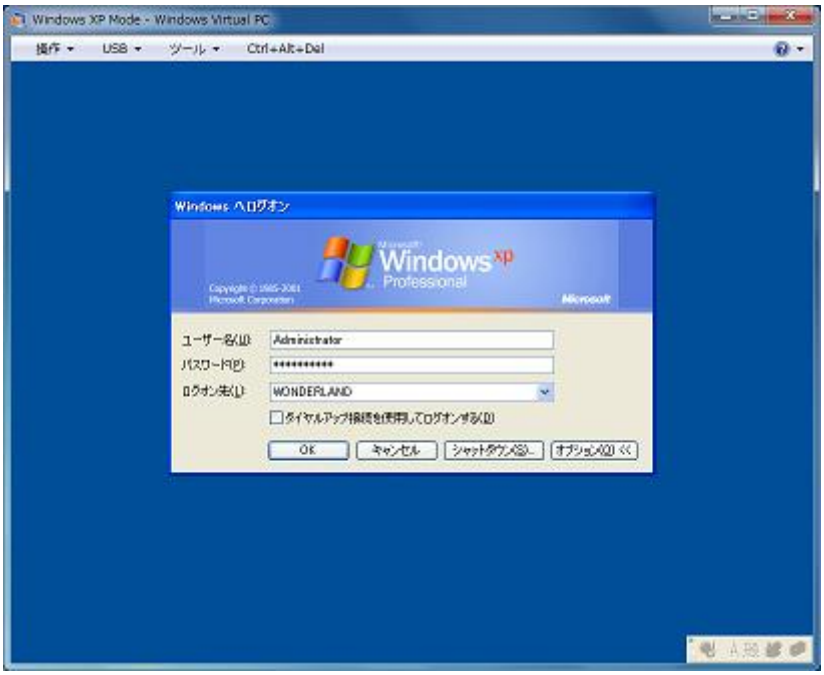
3. Windows XP Mode のコンピュータをリポジトリ データベース サーバと同じドメインに参加させます。



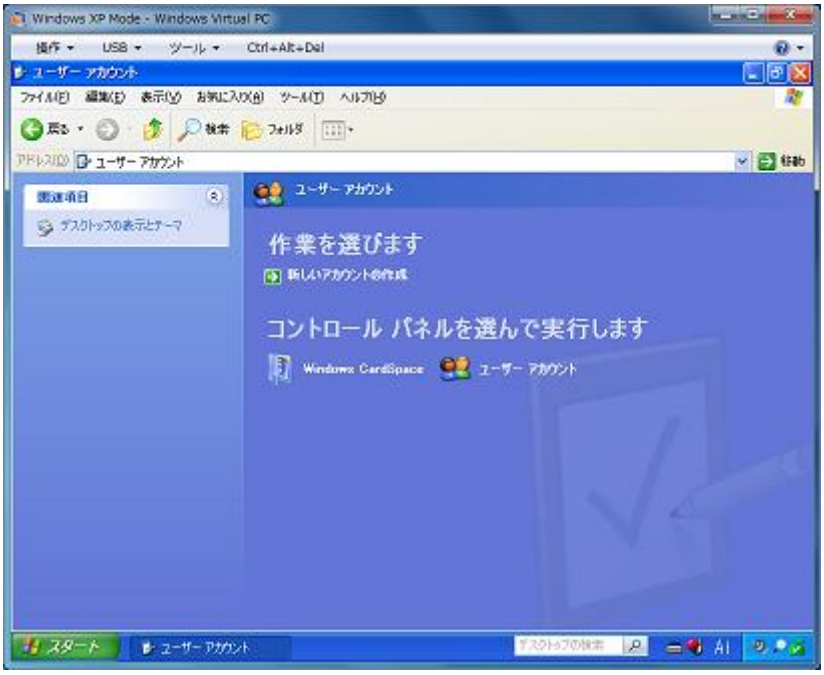


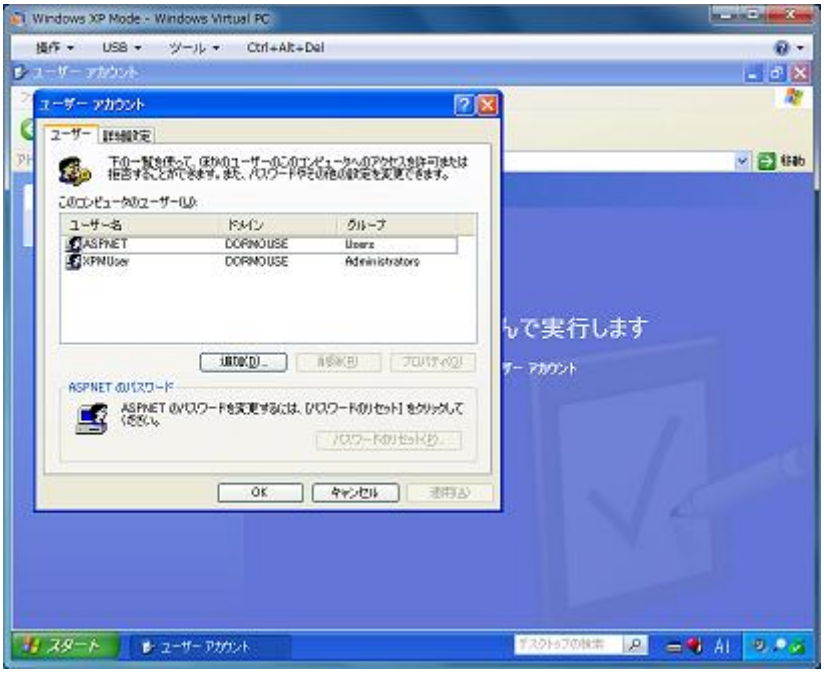

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
システムのプロパティ
コンピュータ名の変更
DORMOUSE
WONDERLAND
WORKGROUP
OK
キャンセル
コンピュータ名の変更
変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。
OK
ごみ箱
スタート

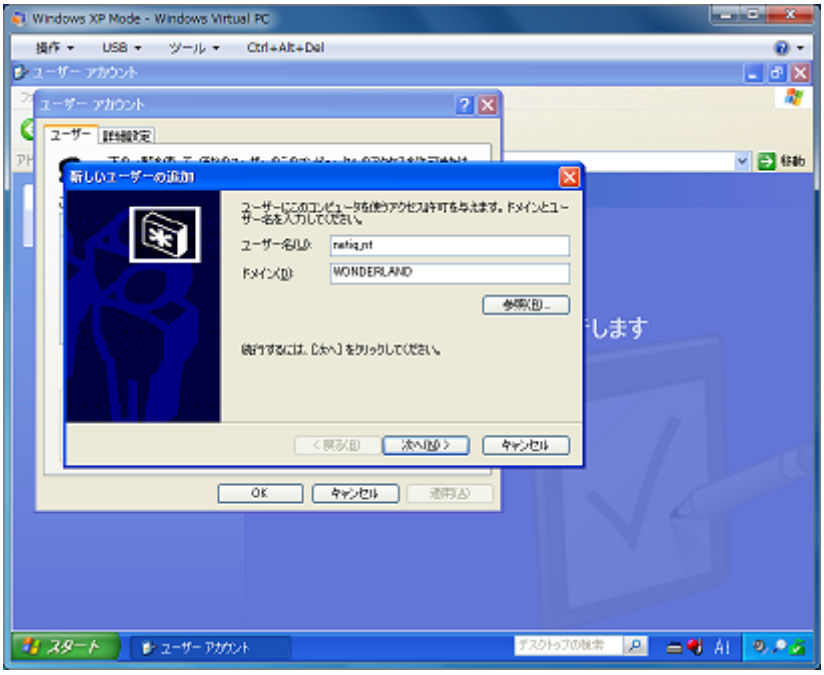
4. Windows XP Mode のコンピュータを再起動後、ドメイン管理者でログオンいただき、UI – Operator Console 操作用のドメイン ユーザーをコンピュータの管理者として追加します。

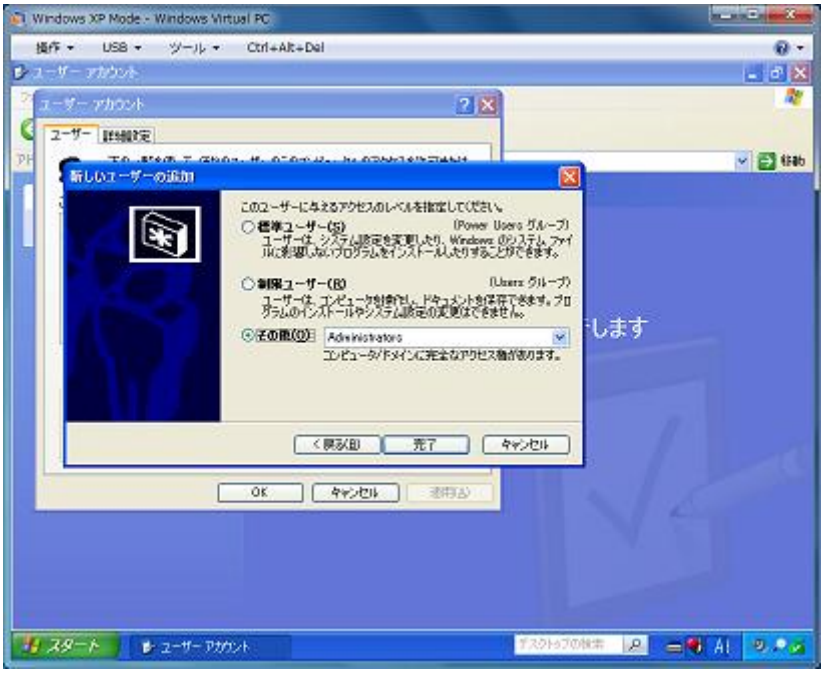


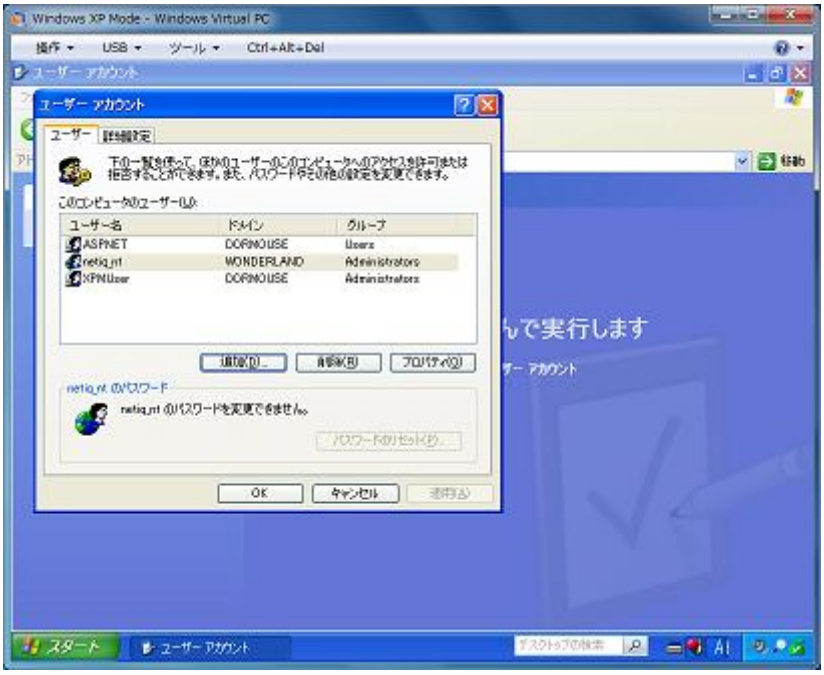



Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
ファイル(F)
編集(E)
表示(V)
お気に入り(A)
ツール(T)
ヘルプ(H)
戻る
検索
フォルダ
アドレス(D)
ユーザー アカウント
移動
最近使った項目
デスクトップの表示とテーマ
ユーザー アカウント
作業を選びます
新しいアカウントの作成
コントロール パネルを選んで実行します
Windows CardSpace
ユーザー アカウント
スタート
ユーザー アカウント
デスクトップの検索
AI

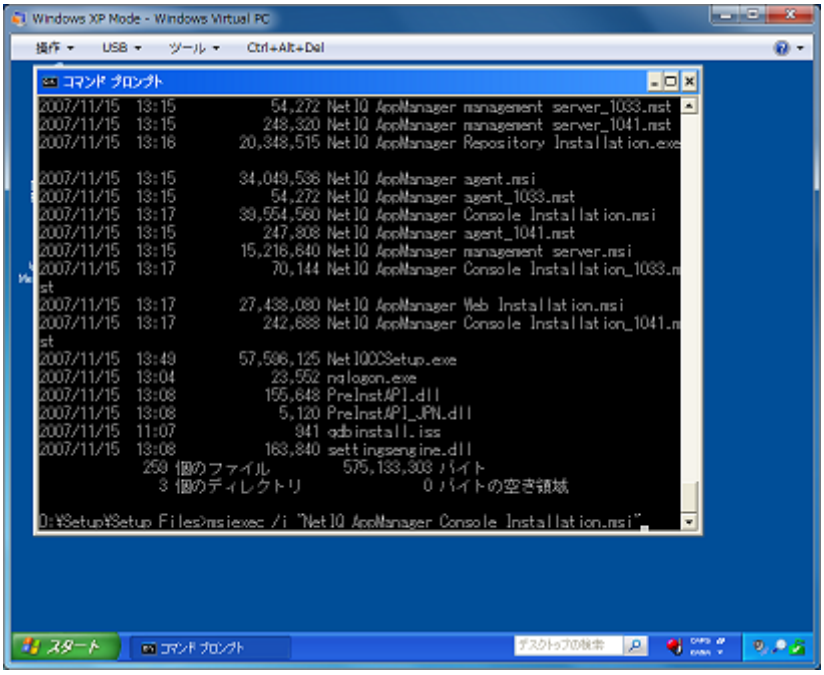

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
ユーザー
詳細設定
このコンピュータのユーザー(U):
ユーザー名
ドメイン
グループ
ASPNET
DORINOUSE
Users
XPNUser
DORINOUSE
Administrators
追加(D)...
削除(R)
プロパティ(O)
ASPNET のパスワード
ASPNET のパスワードを変更するには、[パスワードのリセット] をクリックしてください。
パスワードのリセット(P)...
OK
キャンセル
適用(A)
で実行します
ユーザー アカウント
スタート
ユーザー アカウント
デスクトップの検索
AI


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
ユーザー
詳細設定
新しいユーザーの追加
ユーザーにこのコンピュータを使うアクセス許可を与えます。ドメインとユーザー名を入力してください。
ユーザー名(U):
ドメイン(D):
WONDERLAND
参照(R)...
続行するには、[次へ] をクリックしてください。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
OK
キャンセル
適用(A)
スタート
ユーザー アカウント
デスクトップの検索


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
ユーザー
詳細設定
新しいユーザーの追加
このユーザーに与えるアクセスのレベルを指定してください。
標準ユーザー(S)
(Power Users グループ)
ユーザーは、システム設定を変更したり、Windows のシステム ファイルに影響しないプログラムをインストールしたりすることができます。
制限ユーザー(R)
(Users グループ)
ユーザーは、コンピュータを操作したり、ドキュメントを保存できます。プログラムのインストールやシステム設定の変更はできません。
その他(O):
Administrators
コンピュータ/ドメインに完全なアクセス権があります。
< 戻る(B)
完了
キャンセル
OK
キャンセル
適用(A)
スタート
ユーザー アカウント
デスクトップの検索


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
ユーザー
詳細設定
このコンピュータのユーザー(U):
ユーザー名
ドメイン
グループ
ASPNET
DORINOUSE
Users
netiq_nt
WONDERLAND
Administrators
XPMUser
DORINOUSE
Administrators
追加(D)...
削除(R)
プロパティ(O)
netiq_nt のパスワード
netiq_nt のパスワードを変更できません。
パスワードのリセット(P)...
OK
キャンセル
適用(A)
で実行します
ー アカウント
スタート
ユーザー アカウント
デスクトップの検索
A!

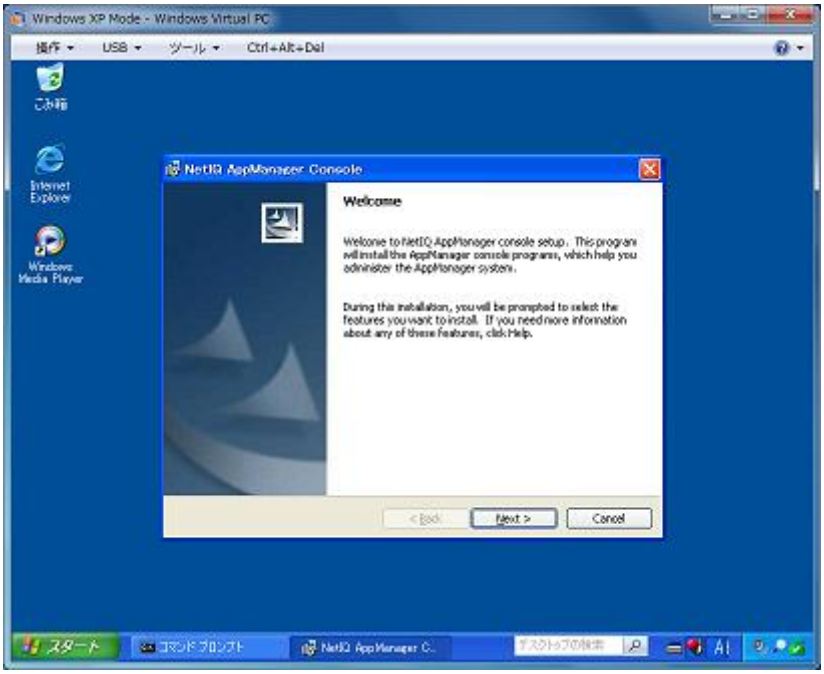
5. 製品 CD-ROM 挿入時の自動再生は行わず、コマンド プロンプトから製品 CD-ROM 内 Setup¥Setup Files フォルダに移動します。 コマンド msiexec /i "NetIQ AppManager Console Installation.msi" を実行します。

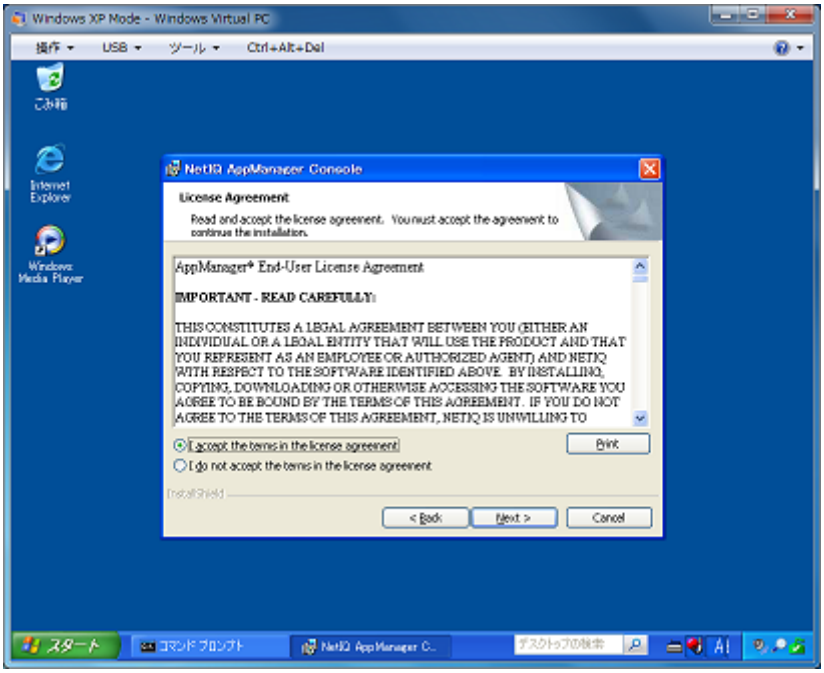


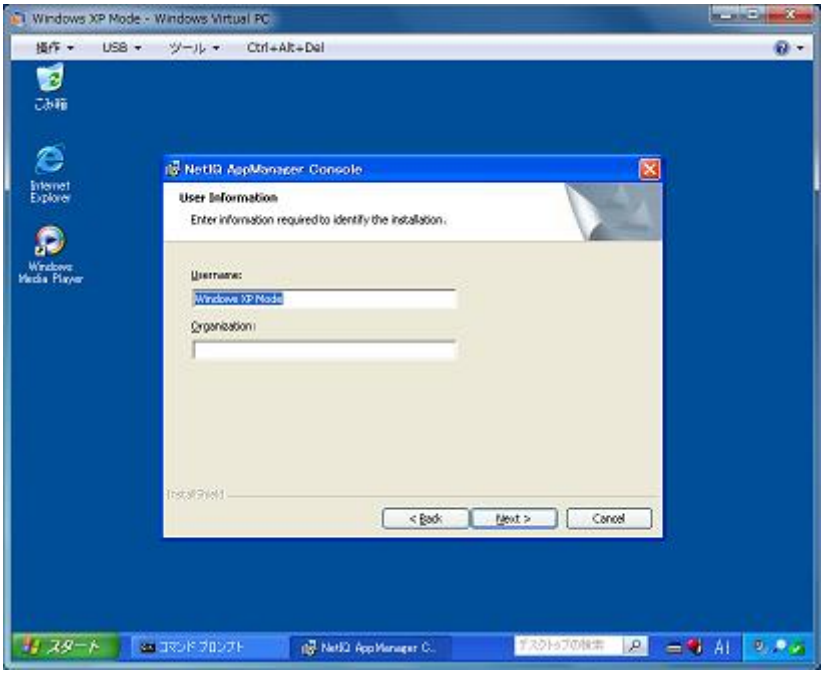
＊ msiexec ではなく、ブラウザからあるいは AMSetup.exe を実行した場合、次のエラーが発生し、動作しません。

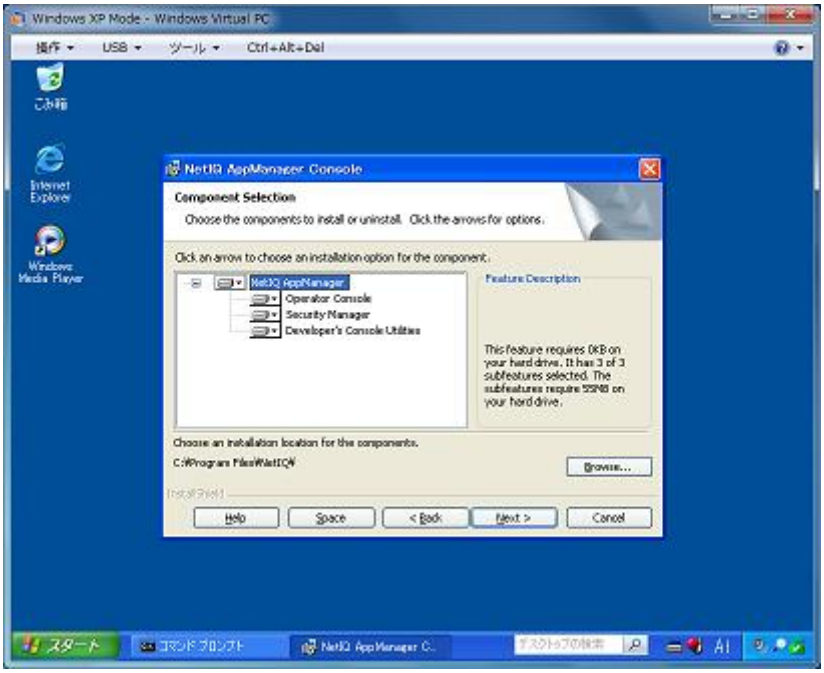


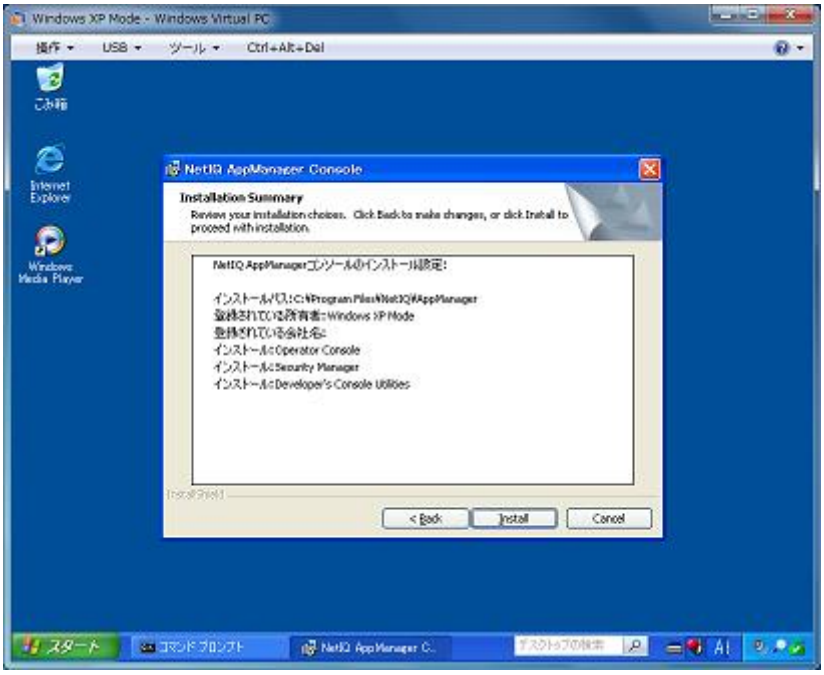
6. Welcome 画面が表示されますので、指示に従ってインストールを実行します。

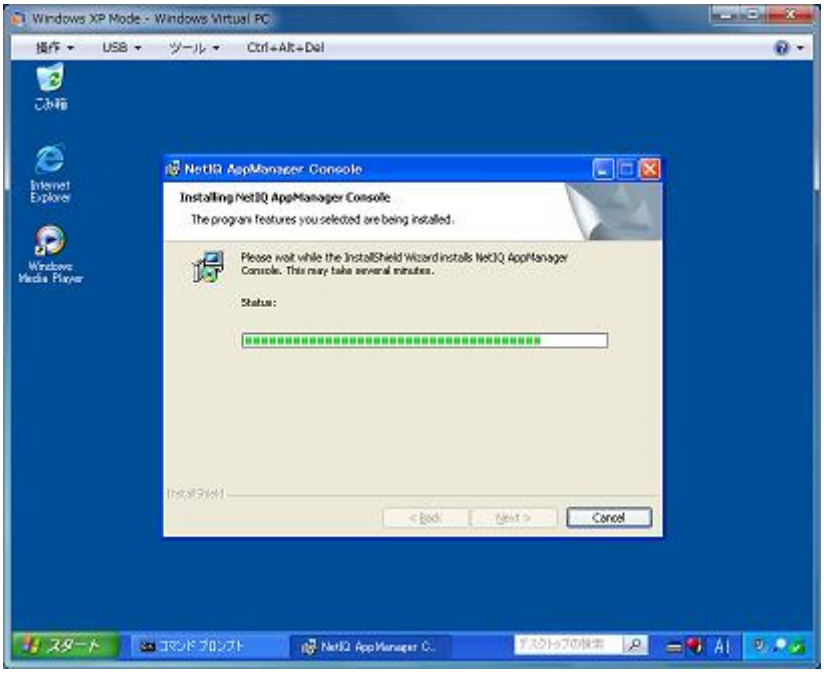


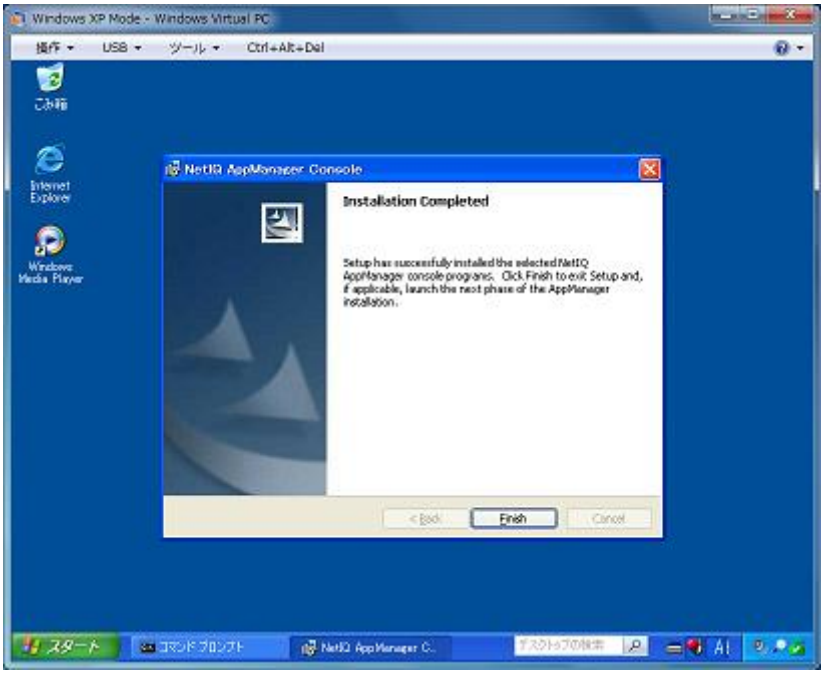



Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
User Information
Enter information required to identify the installation.
Username:
Windows XP Mode
Organization:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...

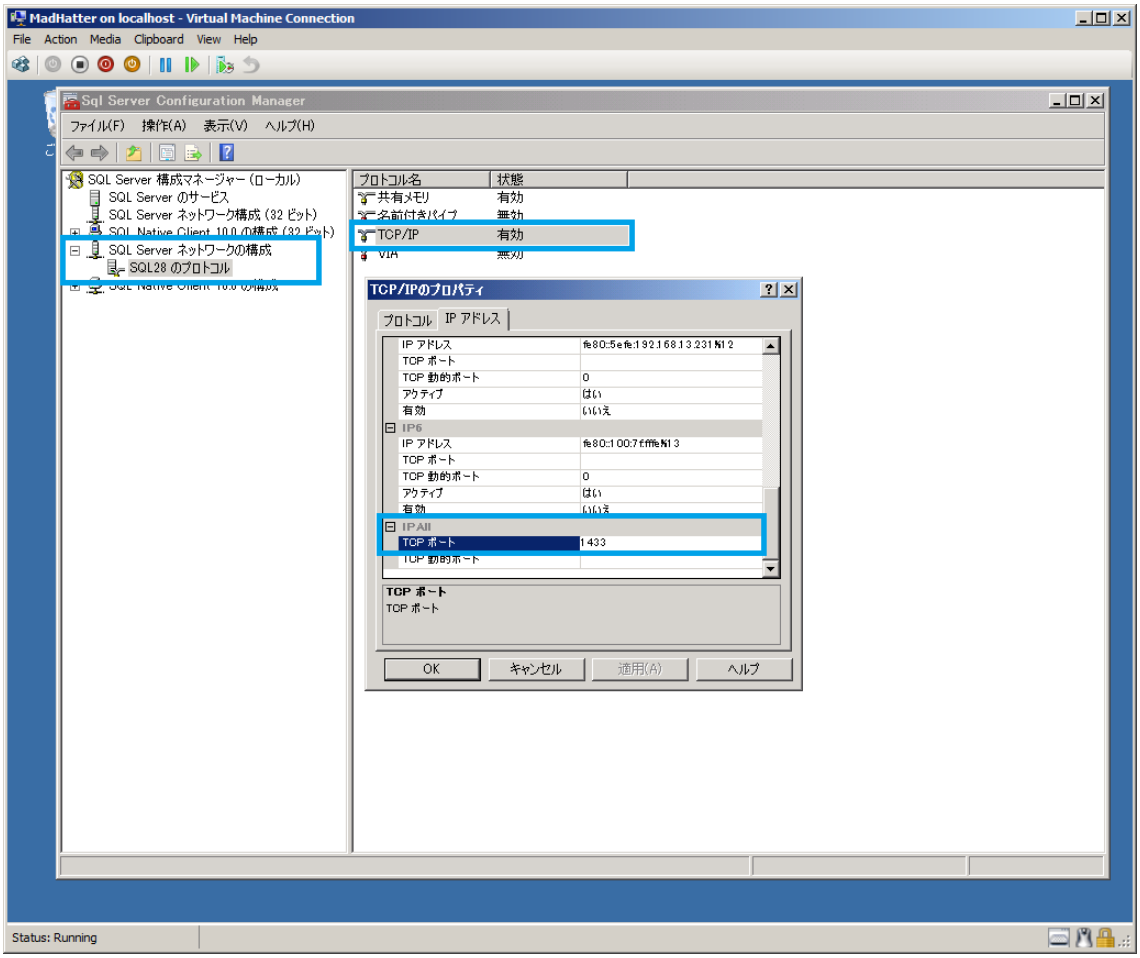

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Component Selection
Choose the components to install or uninstall. Click the arrows for options.
Click an arrow to choose an installation option for the component.
NetIQ AppManager
Operator Console
Security Manager
Developer's Console Utilities
Feature Description
This feature requires 0KB on your hard drive. It has 3 of 3 subfeatures selected. The subfeatures require 55MB on your hard drive.
Choose an installation location for the components.
C:\Program Files\NetIQ\
Browse...
InstallShield
Help
Space
< Back
Next >
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Installation Summary
Review your installation choices. Click Back to make changes, or click Install to proceed with installation.
NetIQ AppManagerコンソールのインストール設定:
インストールパス:C:¥Program Files¥NetIQ¥AppManager
登録されている所有者:Windows XP Mode
登録されている会社名:
インストール:Operator Console
インストール:Security Manager
インストール:Developer's Console Utilities
InstallShield
< Back
Install
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Installing NetIQ AppManager Console
The program features you selected are being installed.
Please wait while the InstallShield Wizard installs NetIQ AppManager Console. This may take several minutes.
Status:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Installation Completed
Setup has successfully installed the selected NetIQ AppManager console programs. Click Finish to exit Setup and, if applicable, launch the next phase of the AppManager installation.
< Back
Finish
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...

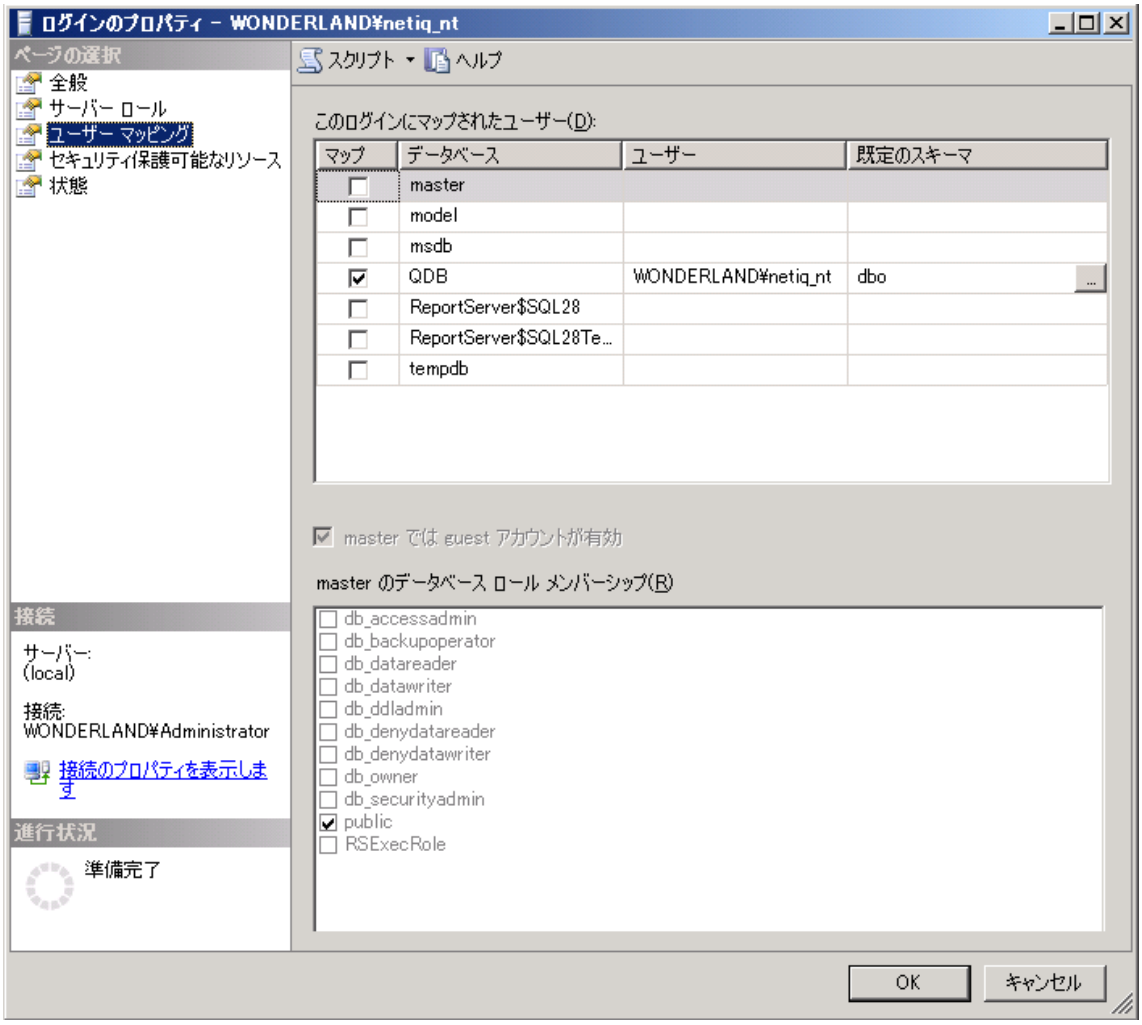
7. Regedit を起動し、リポジトリ データベース サーバへのクライアント設定を構成します。[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥MSSQLServer¥Client¥ConnectTo] のキーを作成し、SQLサーバ名¥名前付きインスタンス名 の値を REG_SZ 型で新たに作成します。データは DBMSSOCN,SQLサーバ名¥名前付きインスタンス名,SQLServerの固定TCPポートです。リポジトリ データベース サーバの Microsoft SQL Server 構成マネージャにて SQL Server のTCPポートの確認と構成をしていただけます。



インストールいただくマシンから DNS または ローカルな hosts ファイルにてリポジトリ データベース サーバの名前解決ができることを事前にご確認ください。



8. Windows 認証で使用するアカウントの既定のスキーマは dbo となるように事前に SQL Server Management Studio にて設定してください。



9. リポジトリデータベースに db_owner 以上の権限を有するアカウント(saやAdministrator)を使用して［スタート］メニューから［NetIQ]-[AppManager]-[Tools & Utilities]-[Security Manager］起動します。AppManagerグループが、Administrator , Read-Only User , Standard User の表記でない時には一度 Security Manager を終了し、グループ名を調整します。



SQL Server Management Studio にて

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Administrator' where RoleName like '管理者'

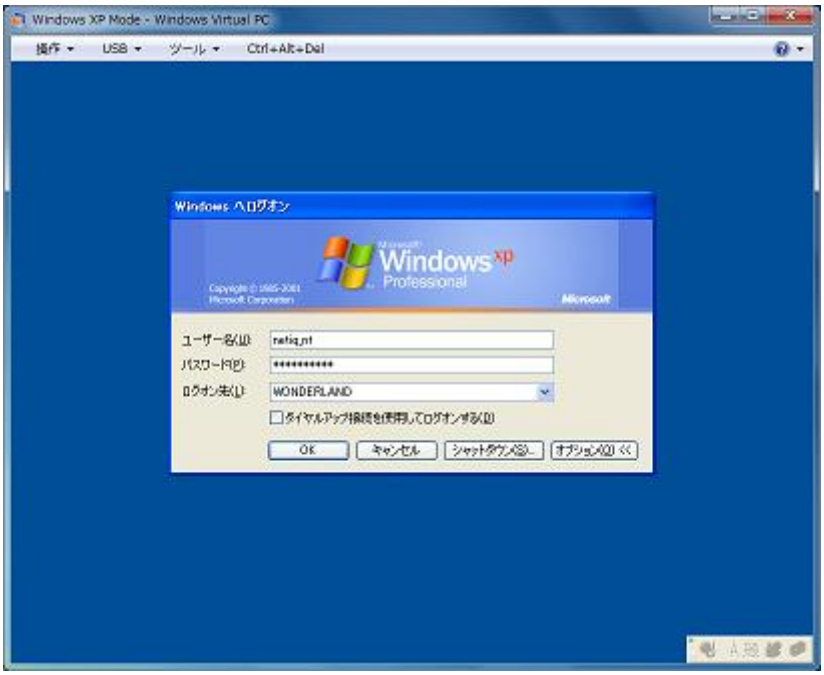
update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Standard User' where RoleName like '一般ユーザー'

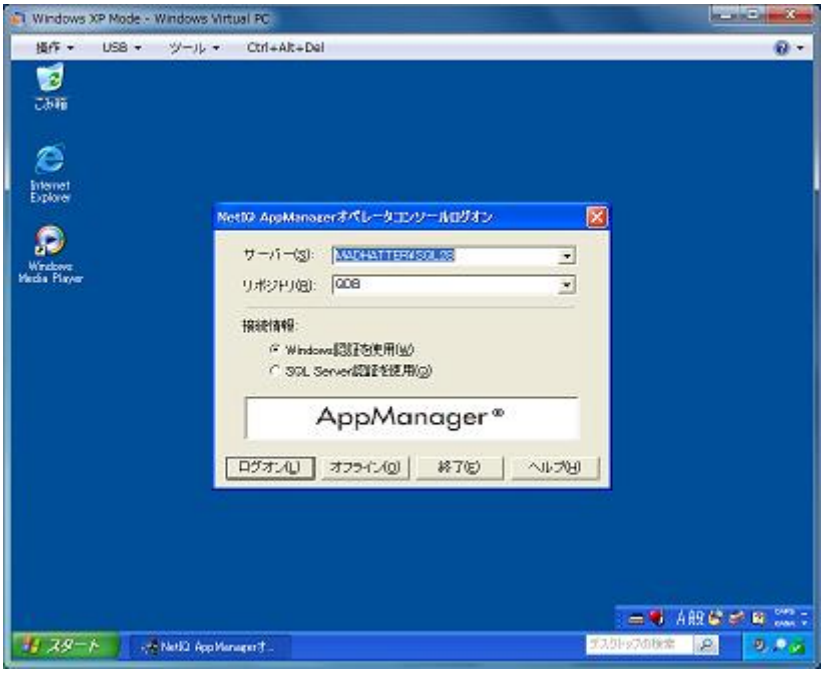
update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Read-Only User' where RoleName like '読み取り専用ユーザー'

の Update 文を実行した後に、もう一度 Security Manager を起動します。

10. AppManager ユーザーをクリック、ユーザーの設定にてSQLユーザーをAppManagerユーザーに追加し、Administrator グループとします。

11. [スタート] メニューから [NetIQ]-[AppManager]-[Operator Console] を起動します。Microsoft SQL Server のセキュリティが Windows 認証となっており、それにリポジトリ データベースをインストールされた場合には同じドメインに参加している PC でないと Operator Console はリポジトリデータベースにログオンできませんので、ご注意ください。

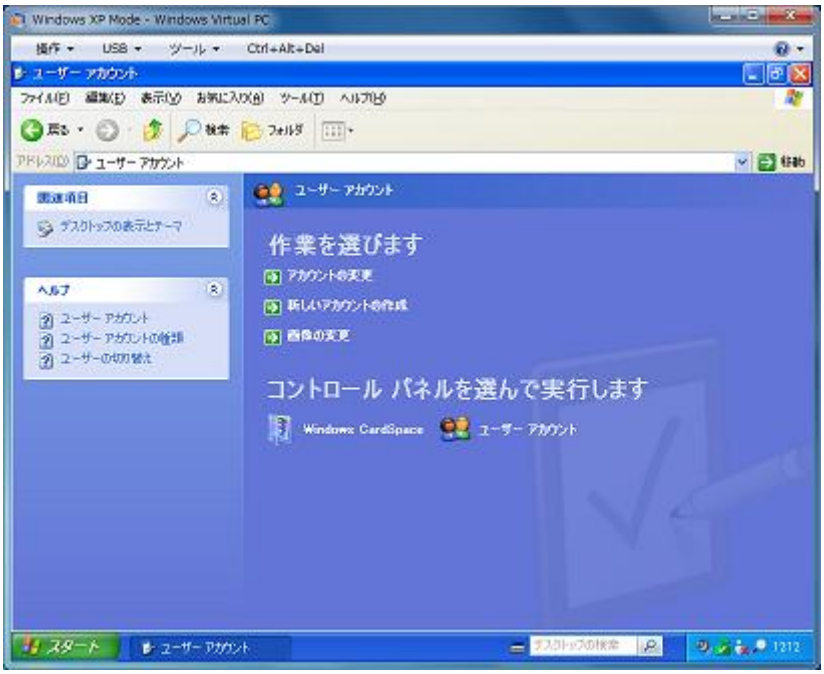




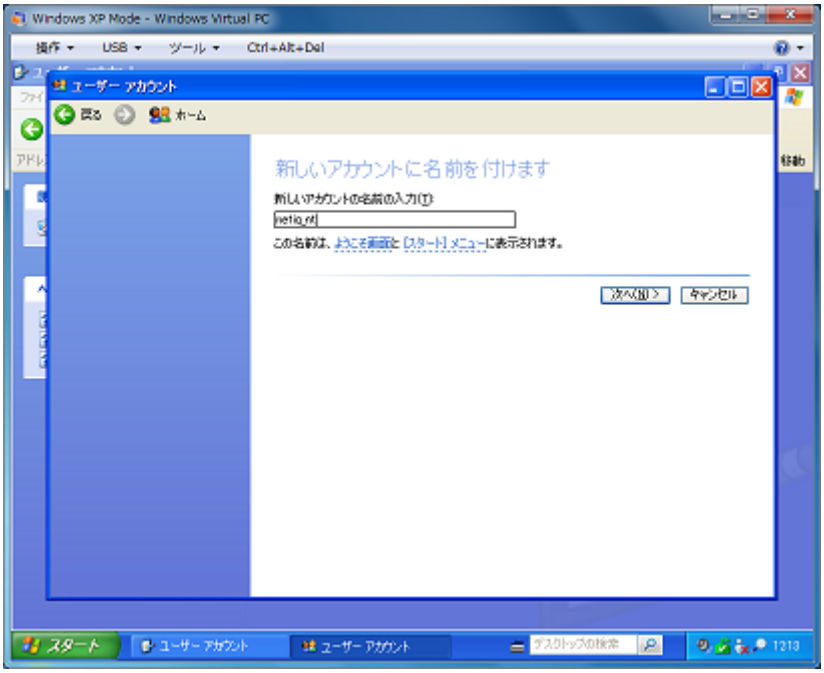
Windows 7 XP モードへのインストール（SQL 認証）

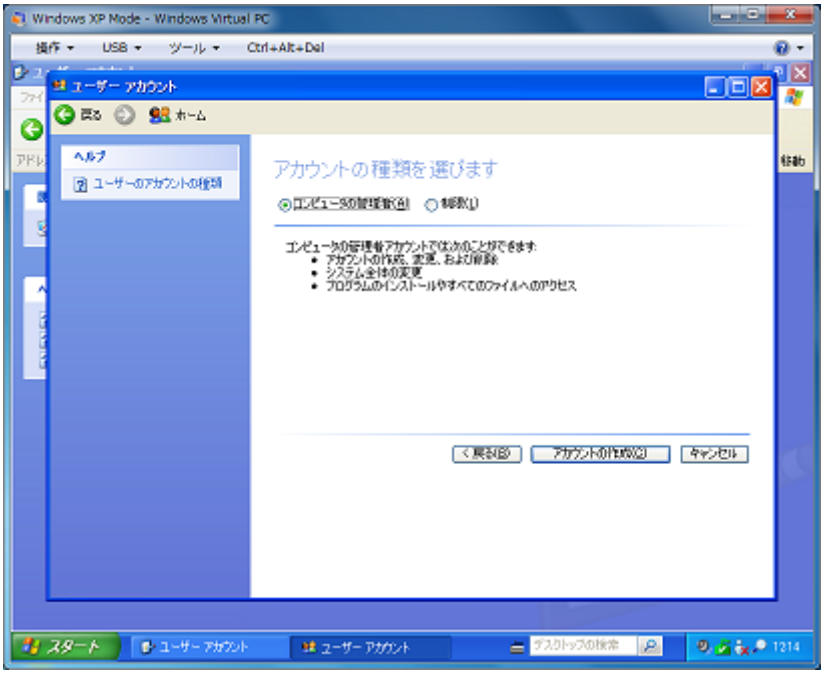
1. Microsoft 社 Windows 7 のダウンロード（ http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows/downloads/windows-7 ）より Windows XP Mode を取得、インストールします。インストール後には Windows Update にて最新の状態にしてください。
2. XPMUser（既定のアカウント）で Windows XP Mode に切り替え後、Operator Console 起動用にプロファイル情報を持つコンピュータの管理者である、新しいアカウントの作成をします。作成後はパスワードを作成します。



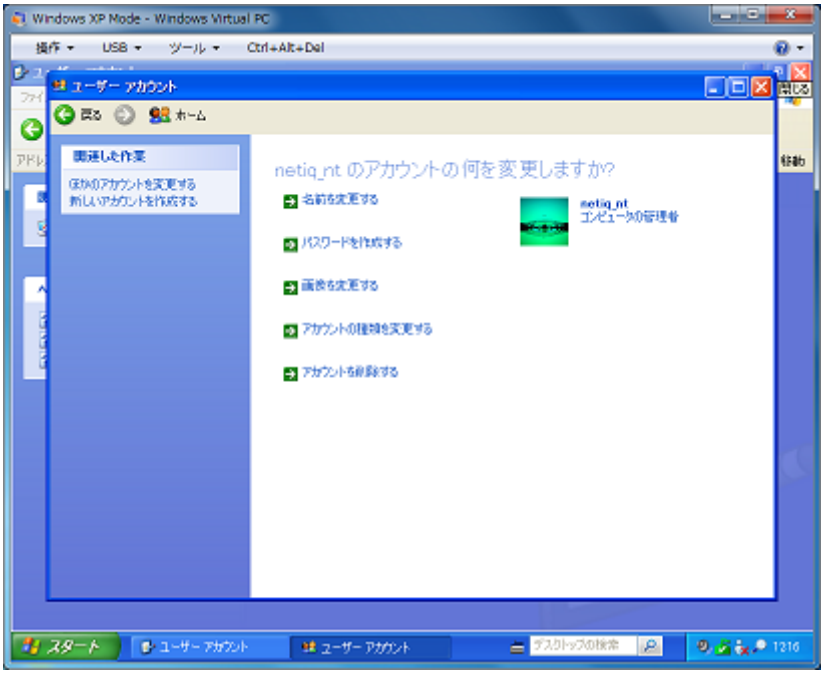


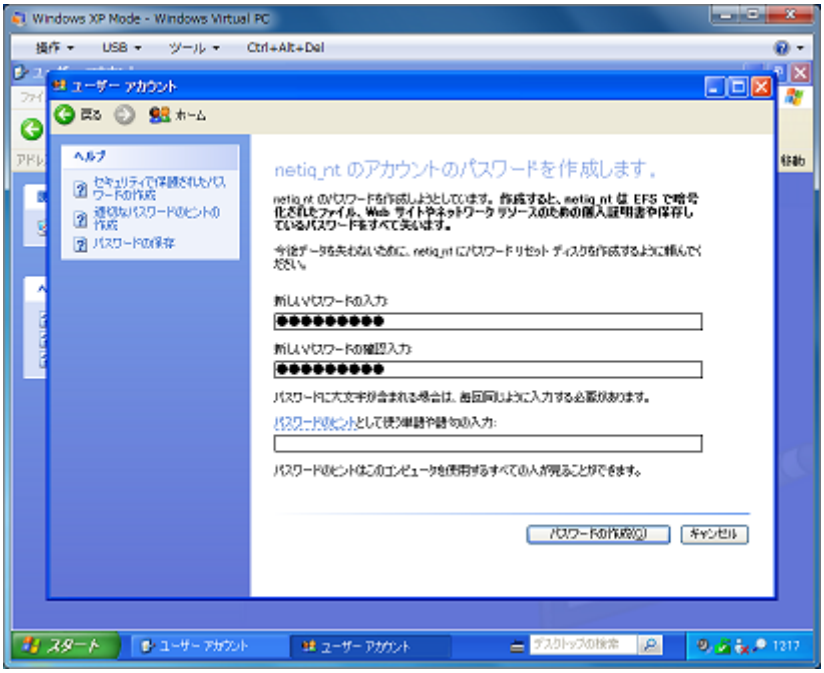

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
ヘルプ
ユーザー アカウント
ユーザーのアカウントの種類
ユーザーの切り替え
作業を選びます
アカウントを変更する
新しいアカウントを作成する
ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する
変更するアカウントを選びます
XPMUser
コンピュータの管理者
パスワードが保護
ASP.NET Machine A...
制限付きアカウント
パスワードが保護
Guest
Guest アカウントはオフです
スタート
ユーザー アカウント
ユーザー アカウント
デスクトップの検索


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
戻る
ホーム
新しいアカウントに名前を付けます
新しいアカウントの名前の入力(T)
netio_nt
この名前は、ようこそ画面と [スタート] メニューに表示されます。
次へ(N) >
キャンセル
スタート
ユーザー アカウント
ユーザー アカウント
デスクトップの検索

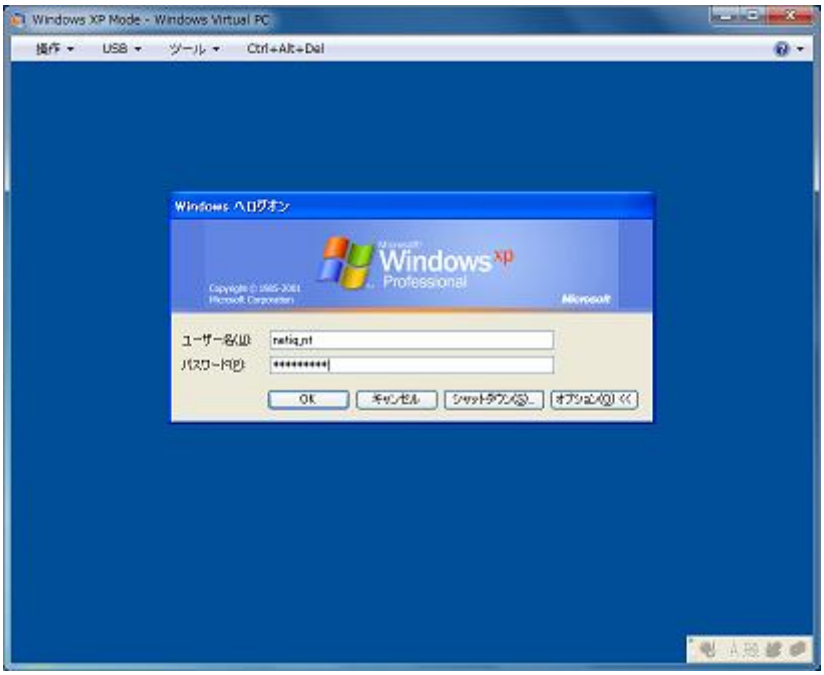

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
戻る
ホーム
ヘルプ
ユーザーのアカウントの種類
アカウントの種類を選びます
コンピュータの管理者(A)
制限(L)
コンピュータの管理者アカウントではのことができます:
アカウントの作成、変更、および削除
システム全体の変更
プログラムのインストールやすべてのファイルへのアクセス
< 戻る(B)
アカウントの作成(C)
キャンセル
スタート
ユーザー アカウント
ユーザー アカウント
デスクトップの検索
1214


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
戻る
ホーム
ヘルプ
ユーザー アカウント
ユーザーのアカウントの種類
ユーザーの切り替え
ユーザー アカウント
作業を選びます
アカウントを変更する
新しいアカウントを作成する
ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する
変更するアカウントを選びます
XPMUser
コンピュータの管理者
パスワードが保護
ASP.NET Machine A...
制限付きアカウント
パスワードが保護
aetsq_nt
コンピュータの管理者
Guest
Guest アカウントはオフです
スタート
ユーザー アカウント
ユーザー アカウント
デスクトップの検索
1214

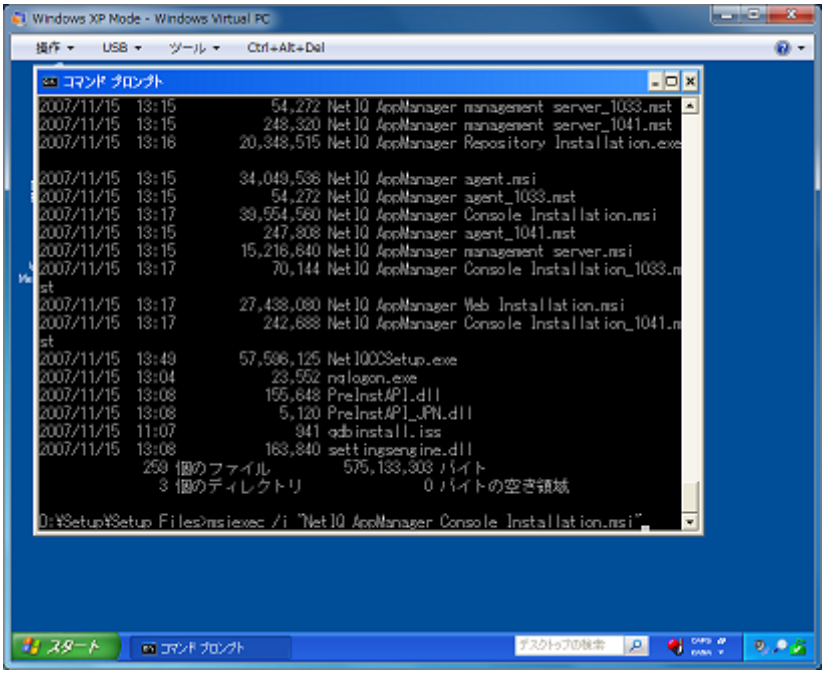

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
戻る
ホーム
閉じる
関連した作業
ほかのアカウントを変更する
新しいアカウントを作成する
netiq_nt のアカウントの何を変更しますか?
名前を変更する
パスワードを作成する
画像を変更する
アカウントの種類を変更する
アカウントを削除する
netiq_nt
コンピュータの管理者
スタート
ユーザー アカウント
ユーザー アカウント
デスクトップの検索
1216


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ユーザー アカウント
戻る
ホーム
移動
ヘルプ
セキュリティで保護されたパスワードの作成
適切なパスワードのヒントの作成
パスワードの保存
netiq_nt のアカウントのパスワードを作成します。
netiq_nt のパスワードを作成しようとしています。作成すると、netiq_nt は EFS で暗号化されたファイル、Web サイトやネットワーク リソースのための個人証明書や保存しているパスワードをすべて失います。
今後データを失わないために、netiq_nt にパスワード リセット ディスクを作成するように頼んでください。
新しいパスワードの入力:
新しいパスワードの確認入力:
パスワードに大文字が含まれる場合は、毎回同じように入力する必要があります。
パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力:
パスワードのヒントはこのコンピュータを使用するすべての人が見ることができます。
パスワードの作成(C)
キャンセル
スタート
ユーザー アカウント
ユーザー アカウント
デスクトップの検索
1217

3. アカウント（例 ：netiq_nt）を作成し、パスワードの設定ができたらいったんログアウトし、新しく作成したアカウントでログオンします。



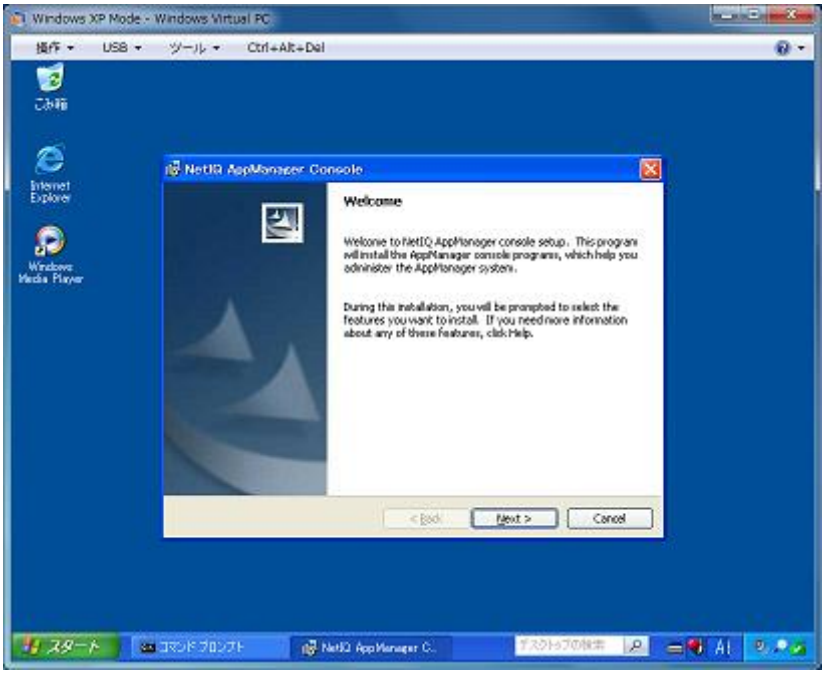
4. 製品 CD-ROM 挿入時の自動再生は行わず、コマンド プロンプトから製品 CD-ROM 内 Setup¥Setup Files フォルダに移動します。 コマンド msiexec /i "NetIQ AppManager Console Installation.msi" を実行します。

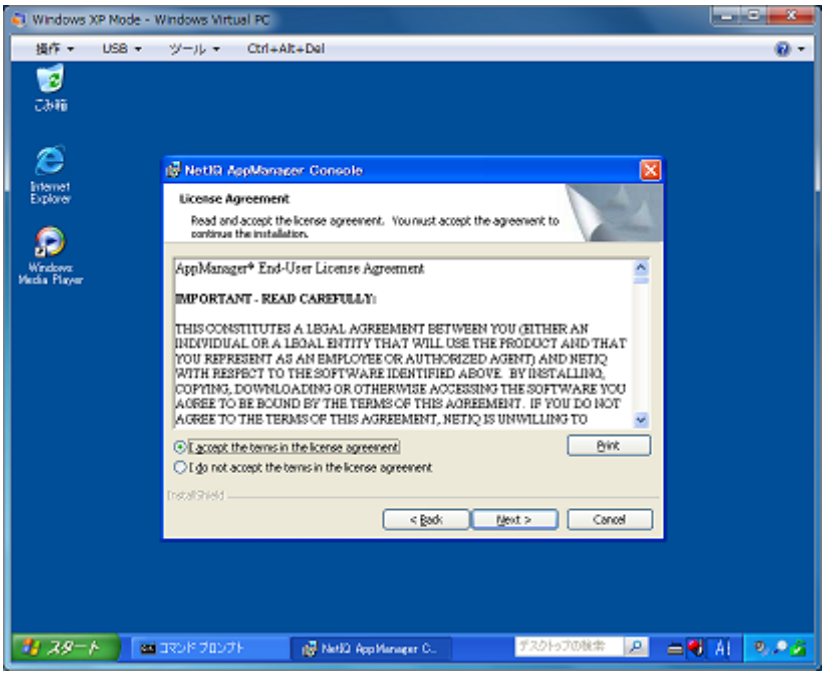


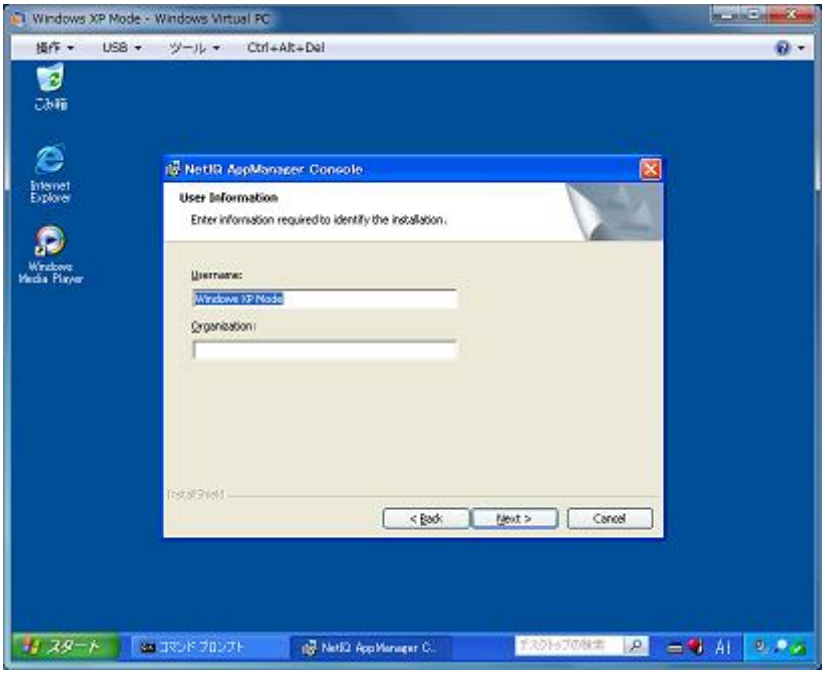
＊ msiexec ではなく、ブラウザからあるいは AMSetup.exe を実行した場合、次のエラーが発生し、動作しません。

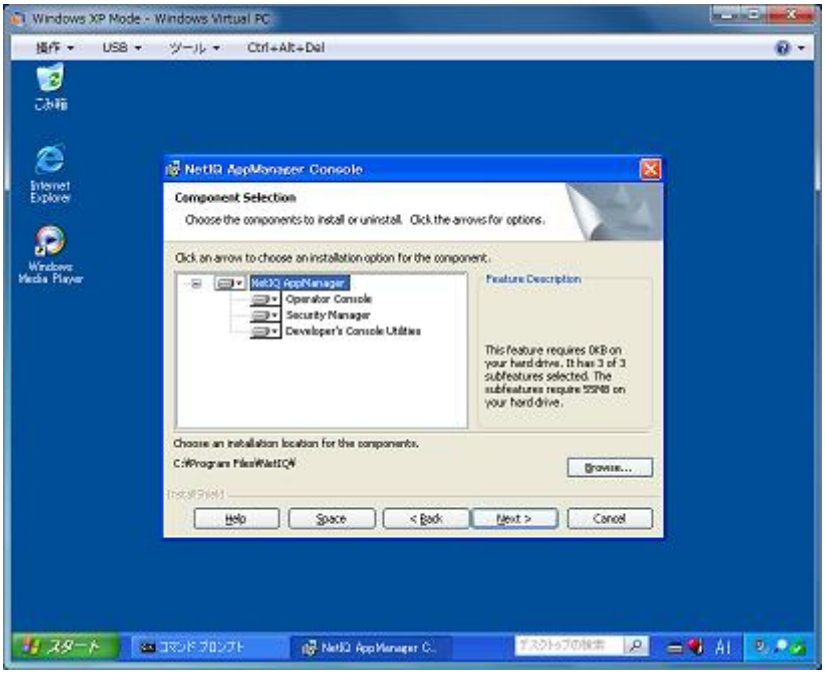


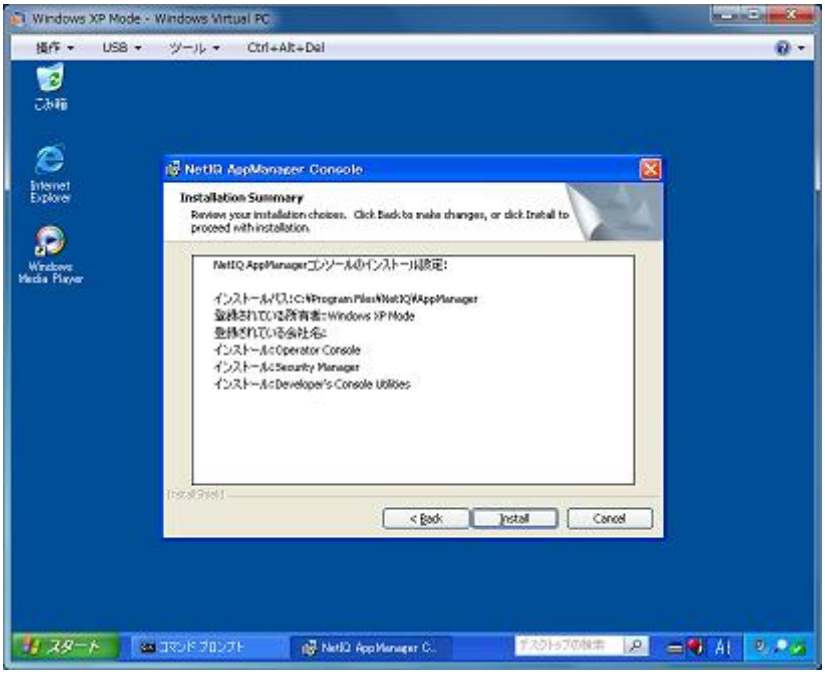
5. Welcome 画面が表示されますので、指示に従ってインストールを実行します。

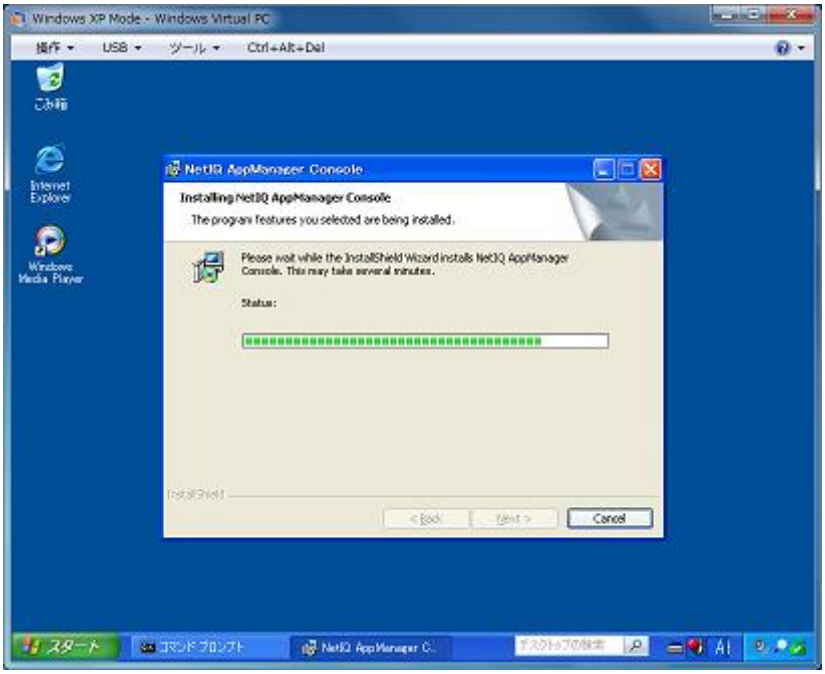


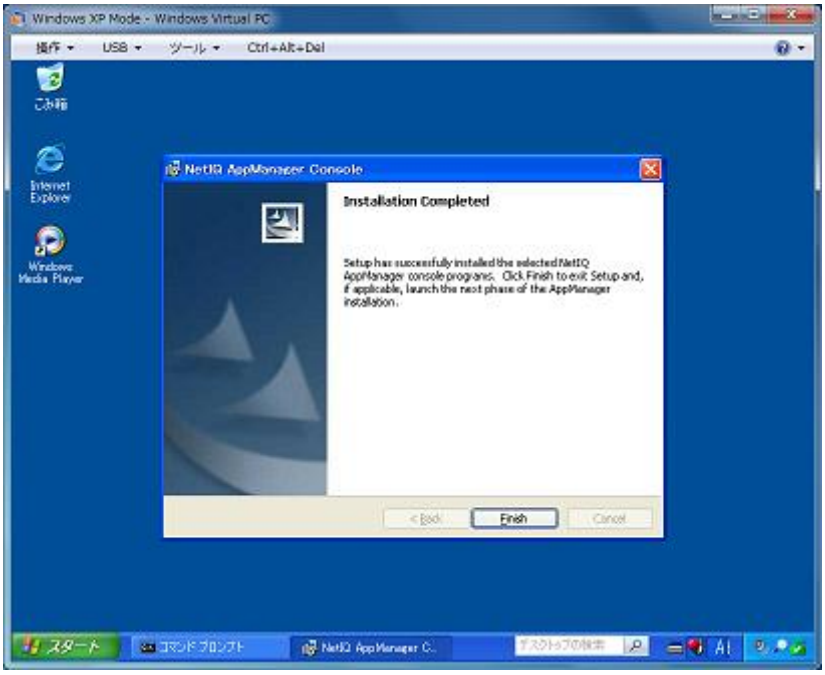



Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
User Information
Enter information required to identify the installation.
Username:
Windows XP Mode
Organization:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...

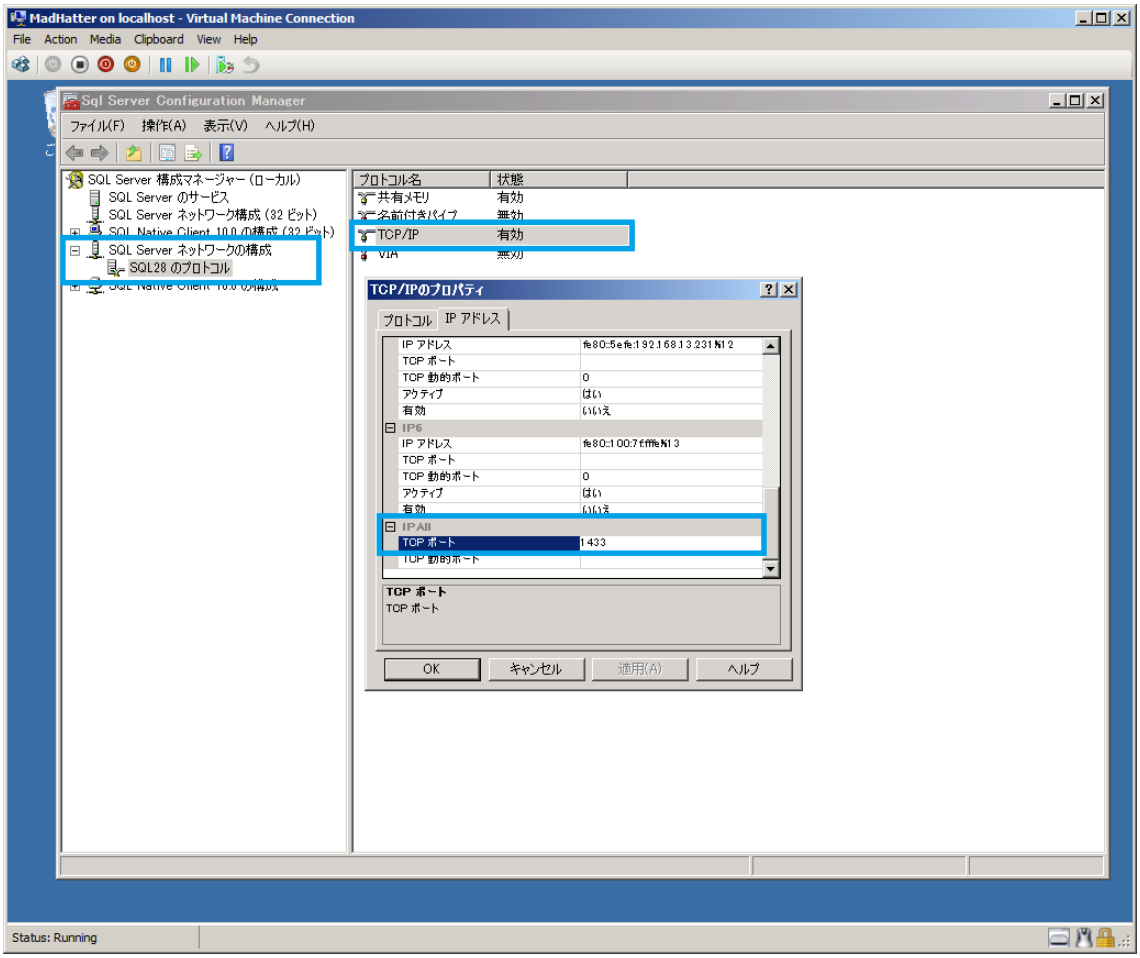

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Component Selection
Choose the components to install or uninstall. Click the arrows for options.
Click an arrow to choose an installation option for the component.
NetIQ AppManager
Operator Console
Security Manager
Developer's Console Utilities
Feature Description
This feature requires 0KB on your hard drive. It has 3 of 3 subfeatures selected. The subfeatures require 55MB on your hard drive.
Choose an installation location for the components.
C:\Program Files\NetIQ\
Browse...
InstallShield
Help
Space
< Back
Next >
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Installation Summary
Review your installation choices. Click Back to make changes, or click Install to proceed with installation.
NetIQ AppManagerコンソールのインストール設定:
インストールパス:C:¥Program Files¥NetIQ¥AppManager
登録されている所有者:Windows XP Mode
登録されている会社名:
インストール:Operator Console
インストール:Security Manager
インストール:Developer's Console Utilities
InstallShield
< Back
Install
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...

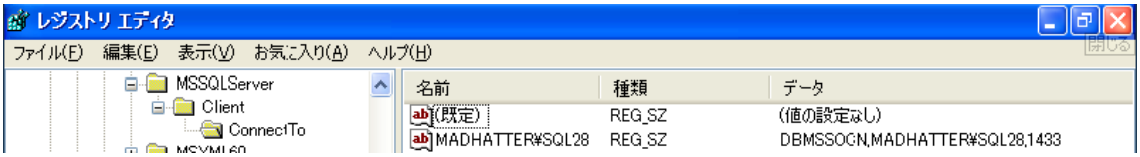

Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Installing NetIQ AppManager Console
The program features you selected are being installed.
Please wait while the InstallShield Wizard installs NetIQ AppManager Console. This may take several minutes.
Status:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...


Windows XP Mode - Windows Virtual PC
操作
USB
ツール
Ctrl+Alt+Del
ごみ箱
Internet Explorer
Windows Media Player
NetIQ AppManager Console
Installation Completed
Setup has successfully installed the selected NetIQ AppManager console programs. Click Finish to exit Setup and, if applicable, launch the next phase of the AppManager installation.
< Back
Finish
Cancel
スタート
コマンド プロンプト
NetIQ AppManager C...

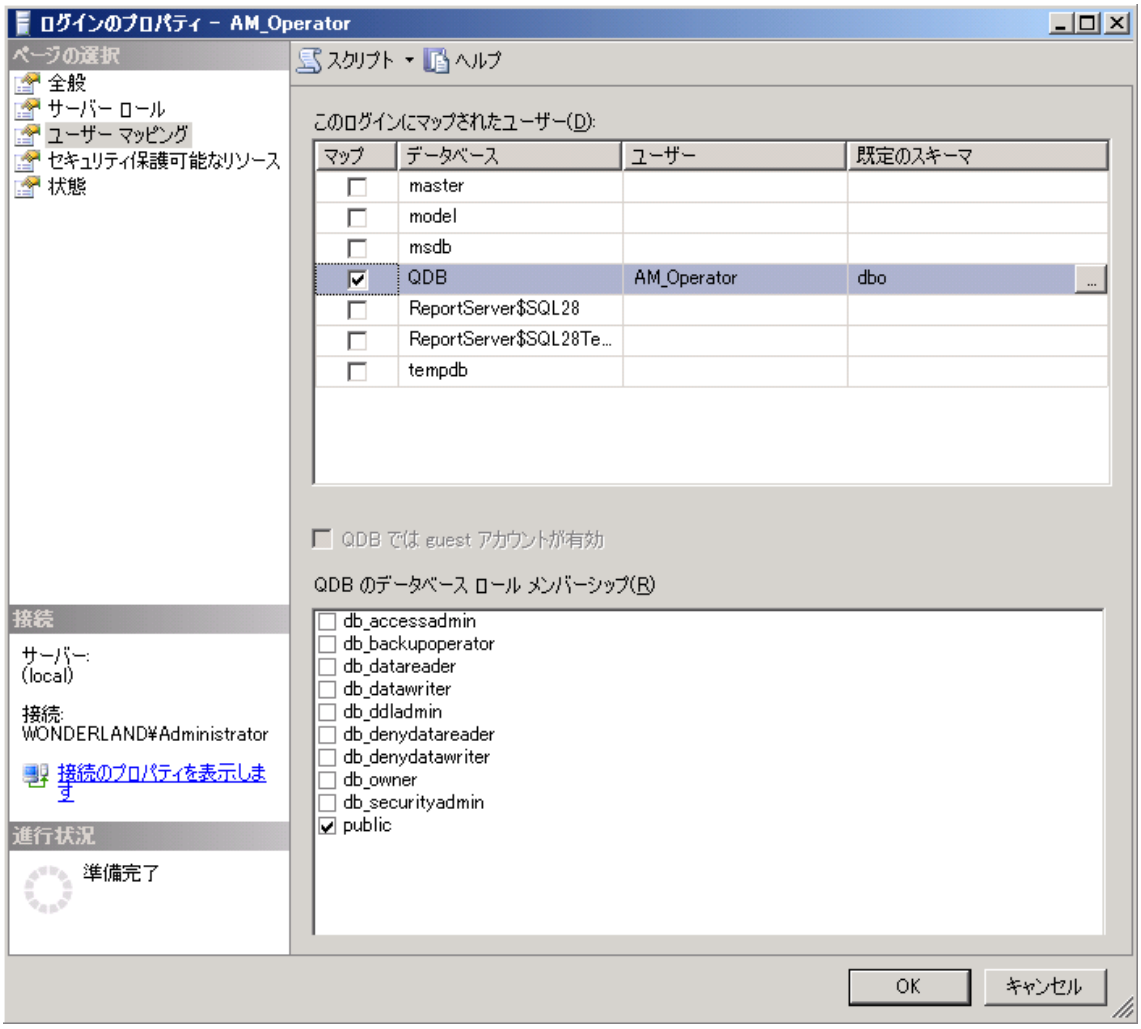
6. Regedit を起動し、リポジトリ データベース サーバへのクライアント設定を構成します。[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ Microsoft¥MSSQLServer¥Client¥ConnectTo] のキーを作成し、SQL サーバ名¥名前付きインスタンス名 の値を REG_SZ 型で新たに作成します。データは DBMSSOCN,SQL サーバ名¥名前付きインスタンス名,SQLServer の固定 TCP ポートです。リポジトリ データベース サーバの Microsoft SQL Server 構成マネージャにて SQL Server の TCP ポートの確認と構成をしていただけます。



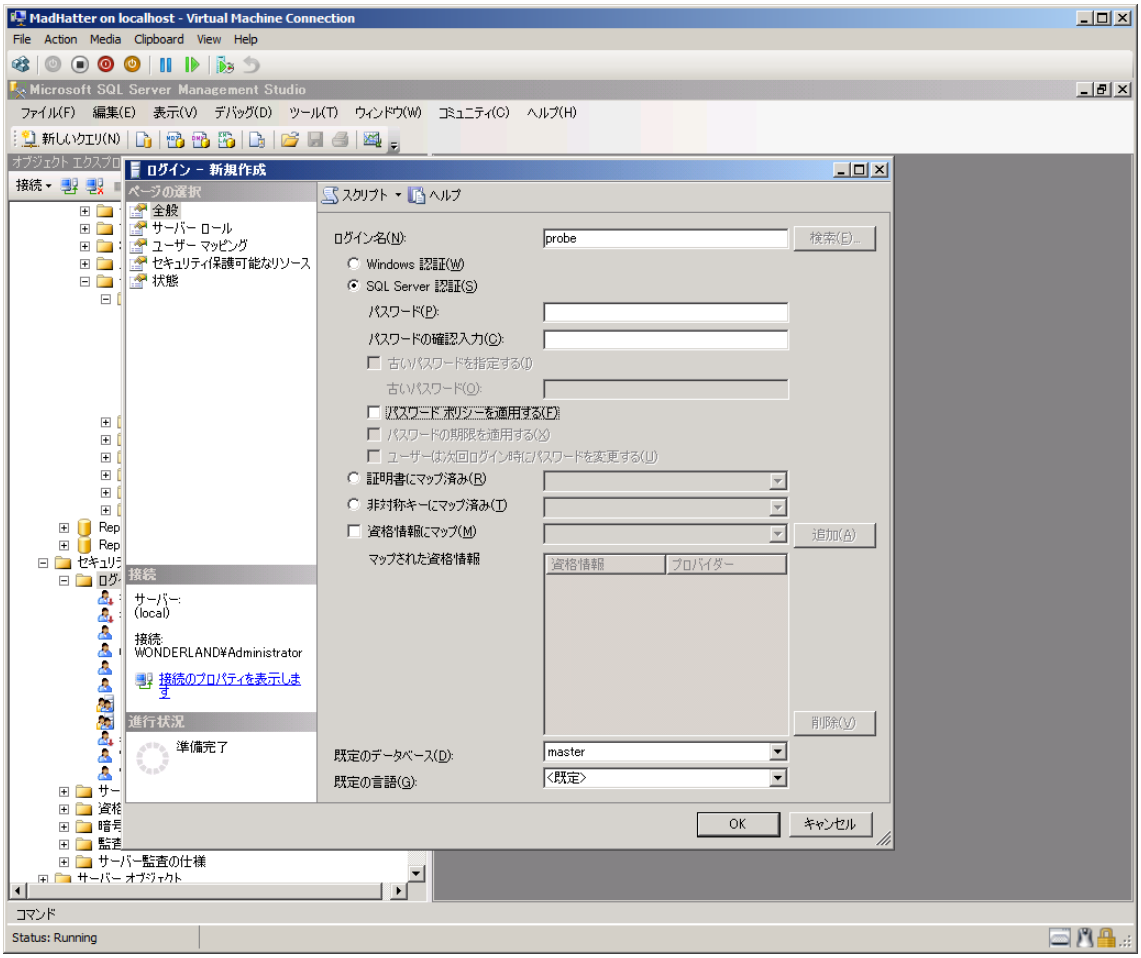
インストールいただくマシンから DNS または ローカルな hosts ファイルにてリポジトリ データベース サーバの名前解決ができることを事前にご確認ください。

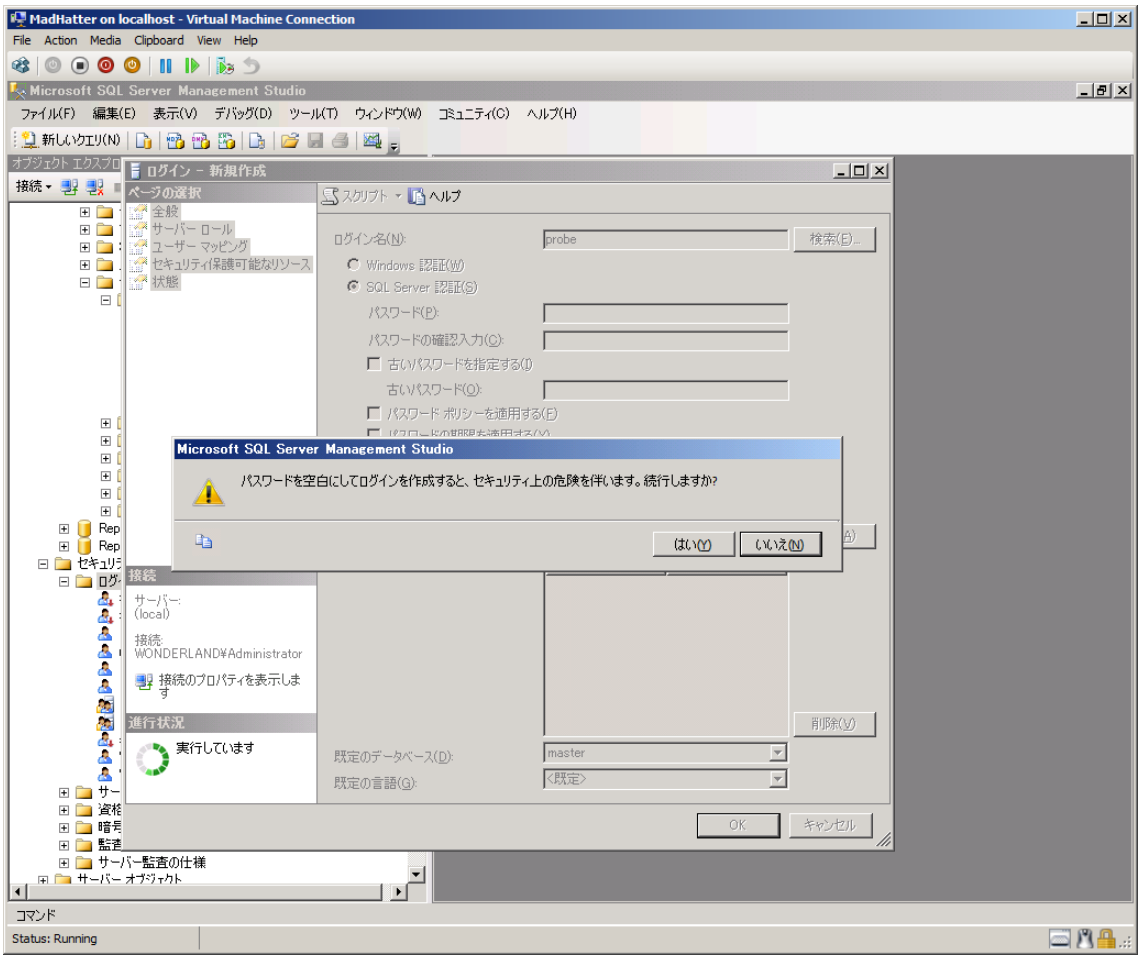


6. SQL 認証で使用するアカウントの既定のスキーマは dbo となるように事前に SQL Server Management Studio にて設定してください。

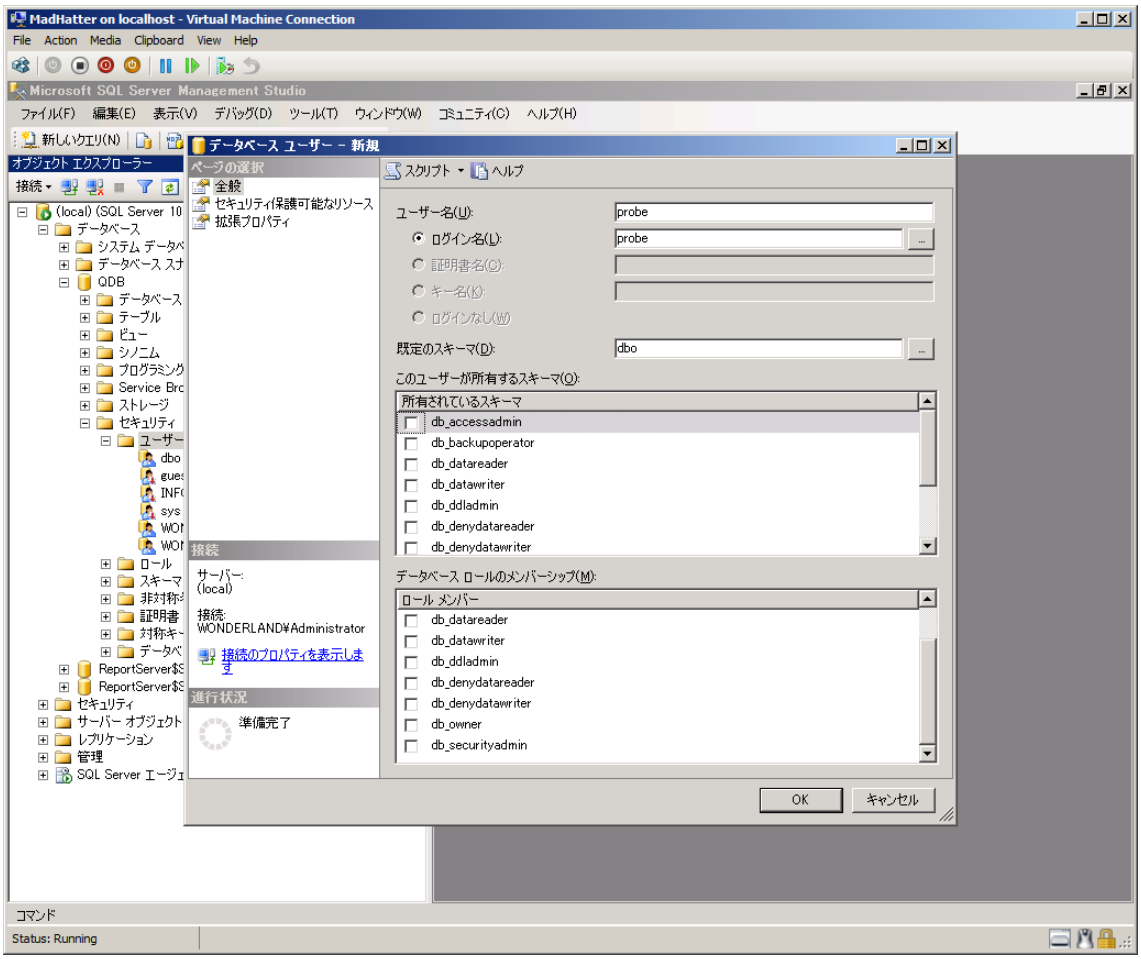


7. ［スタート］メニューから［NetIQ]-[AppManager]-[Operator Console］を起動します。Microsoft SQL Server のセキュリティが Windows / SQL 認証となっている場合、リポジトリ データベースに probe ログイン アカウントをパスワードなしで追加、QDB のユーザーに加えなければ、起動時に正しいサーバーを指定してもリポジトリ欄は空白のままとなり、接続ができません。Microsoft SQL Server Management Studio から probe ログイン アカウントをパスワードなしにて作成します。パスワードを設定しないことで警告が発生しますが、[はい］を押し、作成します。




MadHatter on localhost - Virtual Machine Connection
File Action Media Clipboard View Help
Microsoft SQL Server Management Studio
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) デバッグ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) コミュニティ(C) ヘルプ(H)
新しいクエリ(N)
ログイン - 新規作成
ページの選択
全般
サーバー ロール
ユーザー マッピング
セキュリティ保護可能なリソース
状態
スクリプト
ヘルプ
ログイン名(N):
probe
検索(E)...
Windows 認証(W)
SQL Server 認証(S)
パスワード(P):
パスワードの確認入力(O):
古いパスワードを指定する(I)
古いパスワード(O):
パスワード ポリシーを適用する(F)
Microsoft SQL Server Management Studio
パスワードを空白にしてログインを作成すると、セキュリティ上の危険を伴います。続行しますか?
はい(Y)
いいえ(N)
接続
サーバー:
(local)
接続:
WONDERLAND¥Administrator
接続のプロパティを表示します
進行状況
実行しています
削除(V)
既定のデータベース(D):
master
既定の言語(G):
<既定>
OK
キャンセル
サーバー監査の仕様
コマンド
Status: Running

作成した probe ログイン アカウントを QDB のユーザーに加えます。既定のスキーマは dbo にします。ロール メンバは既定の public のみとします。



8. リポジトリデータベースに db_owner 以上の権限を有するアカウント(saやAdministrator)を使用して［スタート］メニューから［NetIQ]-[AppManager]-[Tools & Utilities]-[Security Manager］起動します。AppManagerグループが、Administrator , Read-Only User , Standard User の表記でない時には一度 Security Manager を終了し、グループ名を調整します。



SQL Server Management Studio にて

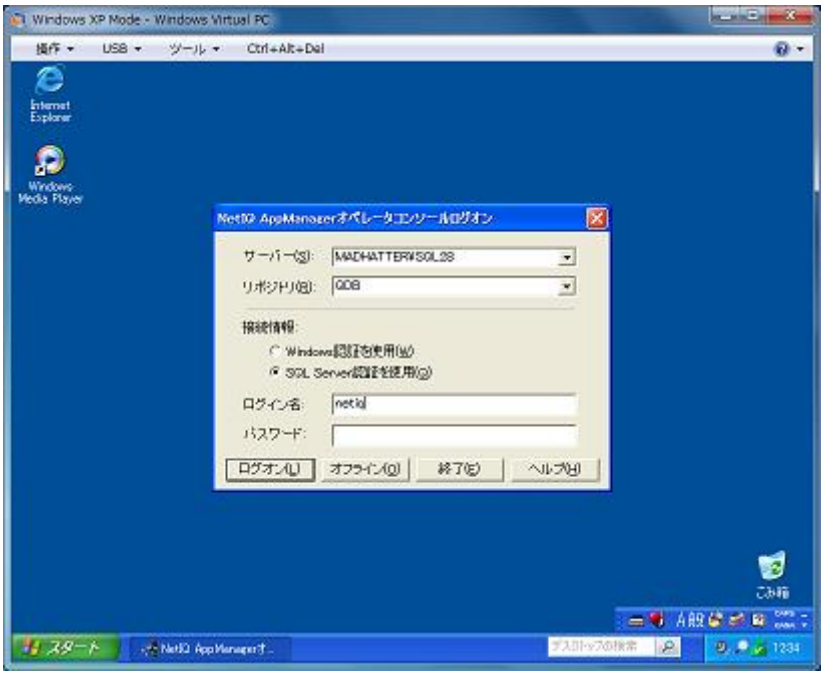
update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Administrator' where RoleName like '管理者'

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Standard User' where RoleName like '一般ユーザー'

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Read-Only User' where RoleName like '読み取り専用ユーザー'

の Update 文を実行した後に、もう一度 Security Manager を起動します。

9. AppManager ユーザーをクリック、ユーザーの設定にてSQLユーザーをAppManagerユーザーに追加し、Administrator グループとします。
10. パスワードなしの probe アカウントがある場合にはリポジトリ データベース名が取得でき、パスワードつきのユーザーにてログオンできるようになります。

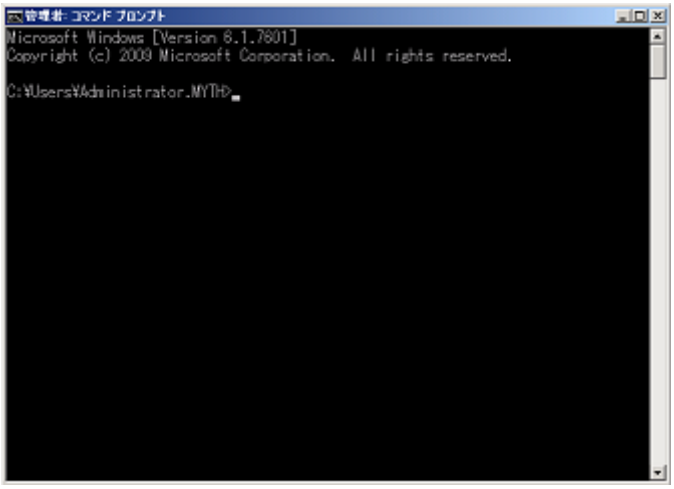


Windows Server 2008 R2 デスクトップ環境へのインストール

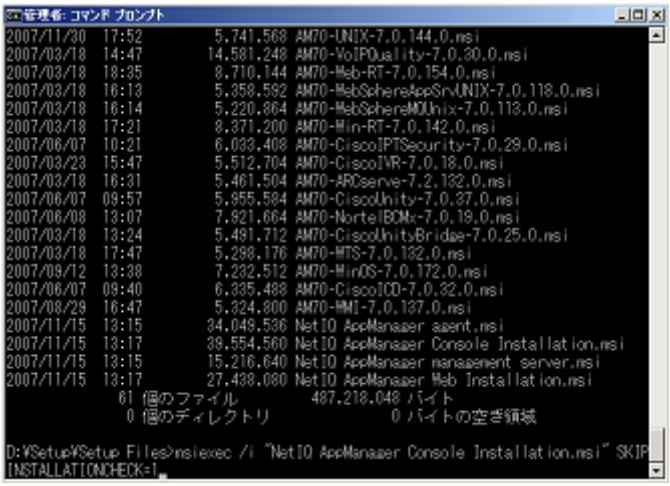
1. [スタート] メニューから [アクセサリ]-[コマンド プロンプト] を選択、マウス右ボタンをクリックいただき、[管理者として実行]をクリックします。



2. ウィンドウのタイトルが［管理者:コマンド プロンプト］となっていることをご確認いただき、製品 CD-ROM をコンピュータに挿入します。



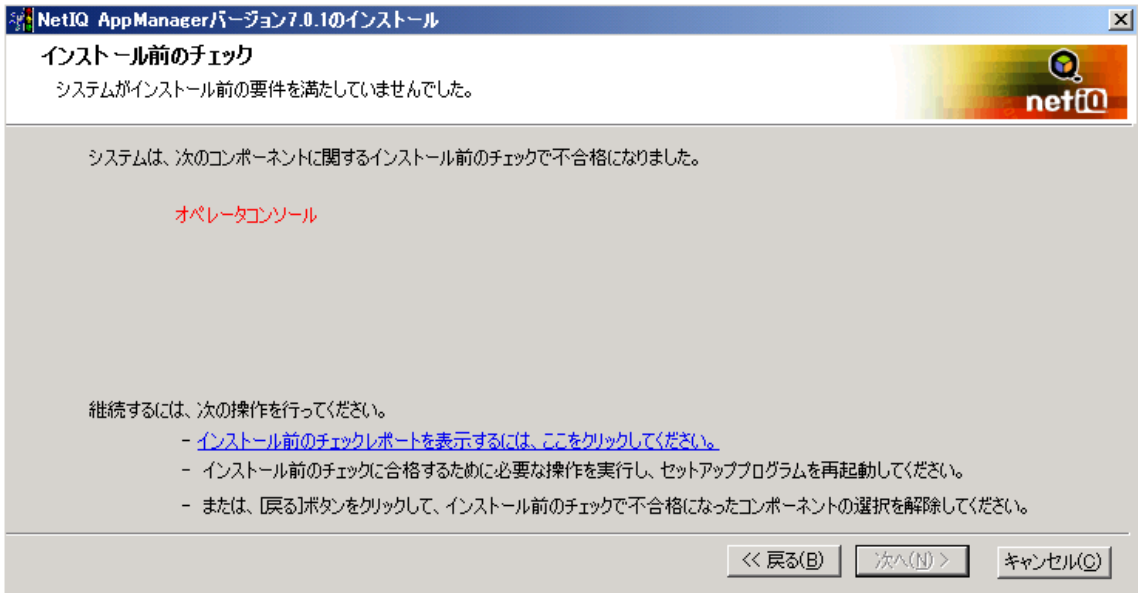
3. 製品 CD-ROM 挿入時の自動再生は行わず、コマンド プロンプトから製品 CD-ROM 内 Setup¥Setup Files フォルダに移動します。 コマンド msiexec /i "NetIQ AppManager Console Installation.msi" SKIPINSTALLATIONCHECK=1 を実行します。



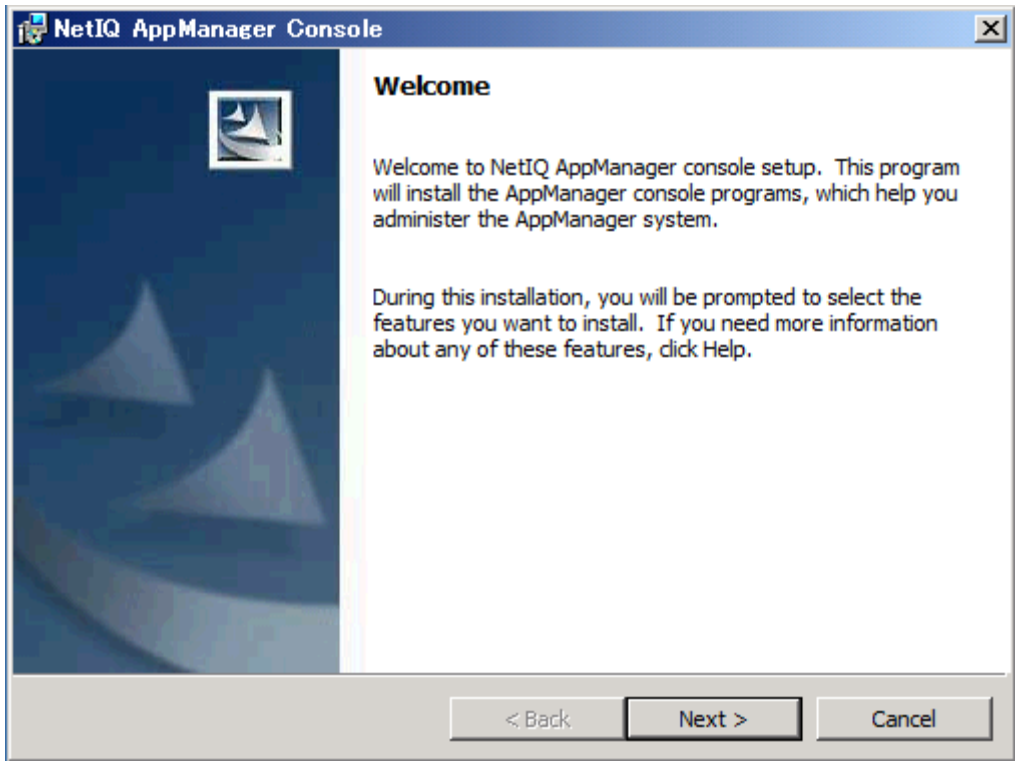
＊ SKIPINSTALLATIONCHECK=1引数を設定しなかった場合には次のエラーとなりインストールを実施できません。

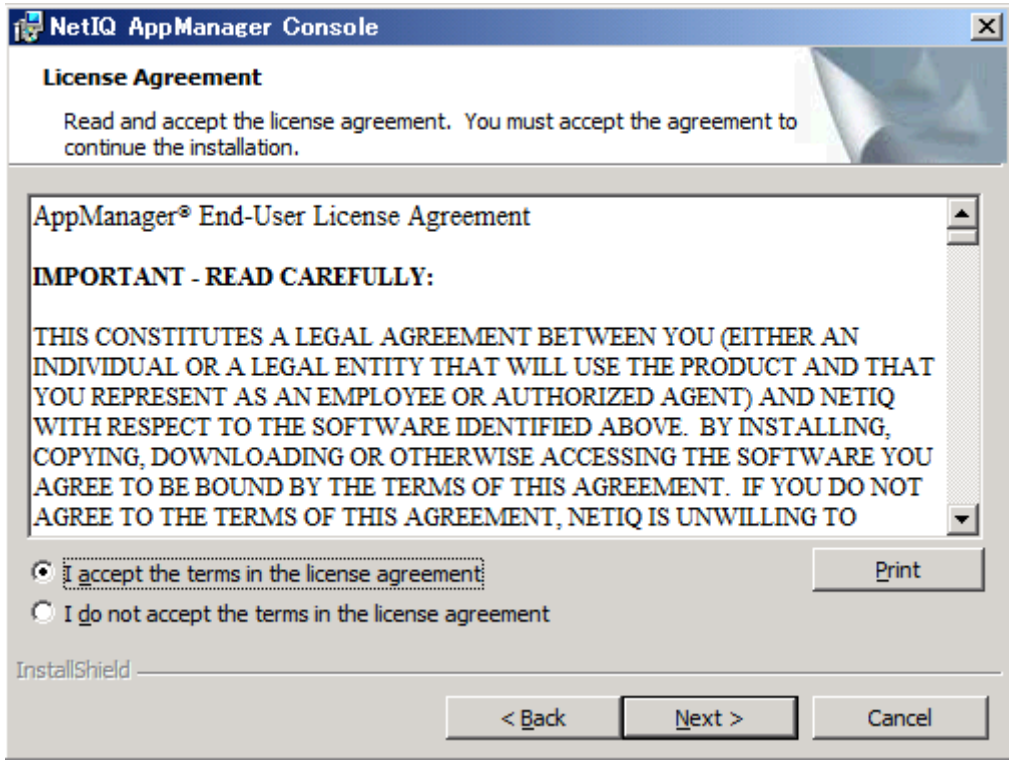


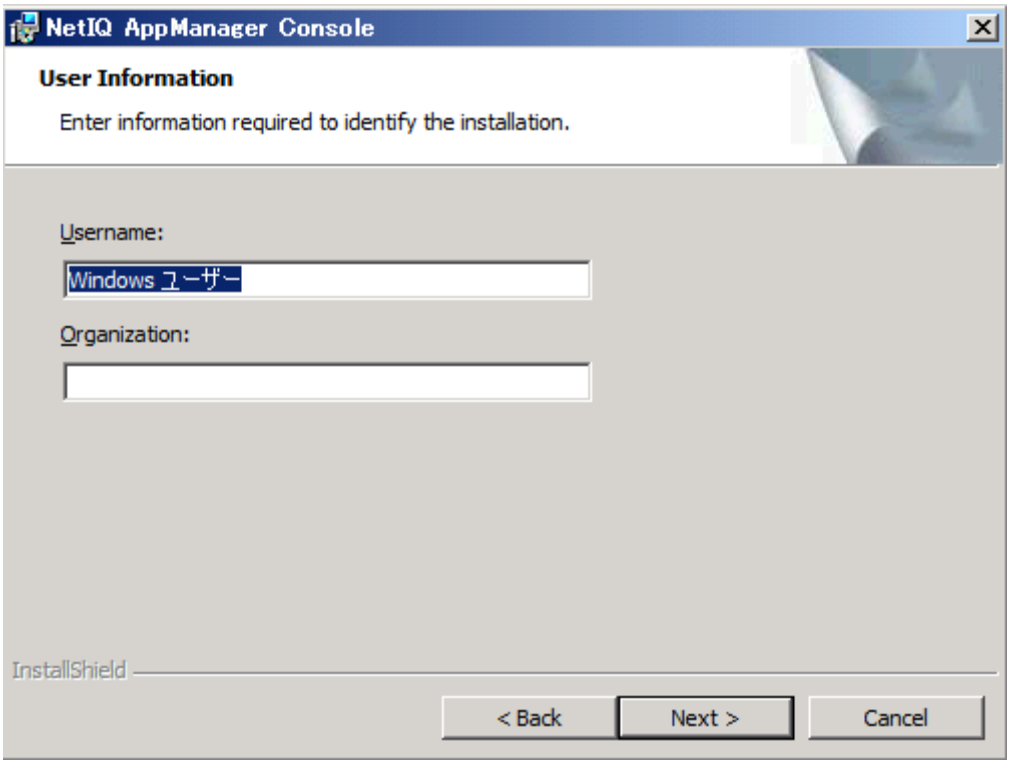
ブラウザからセットアップを実行した場合も同様に次のエラーが発生し、インストールができません。

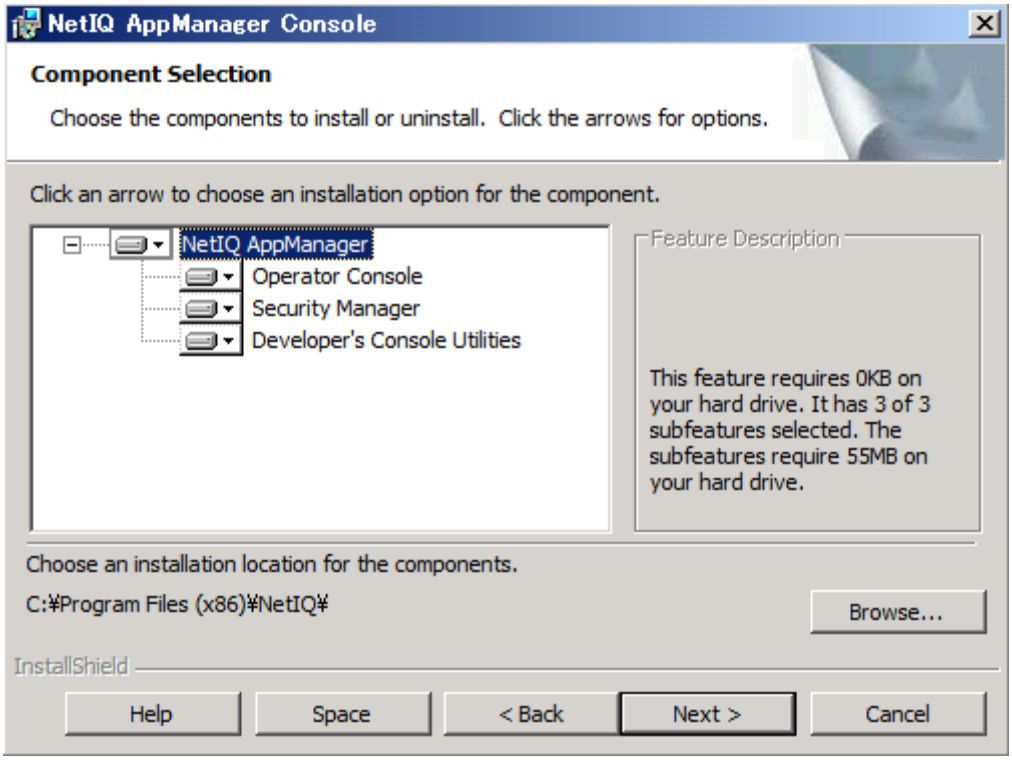


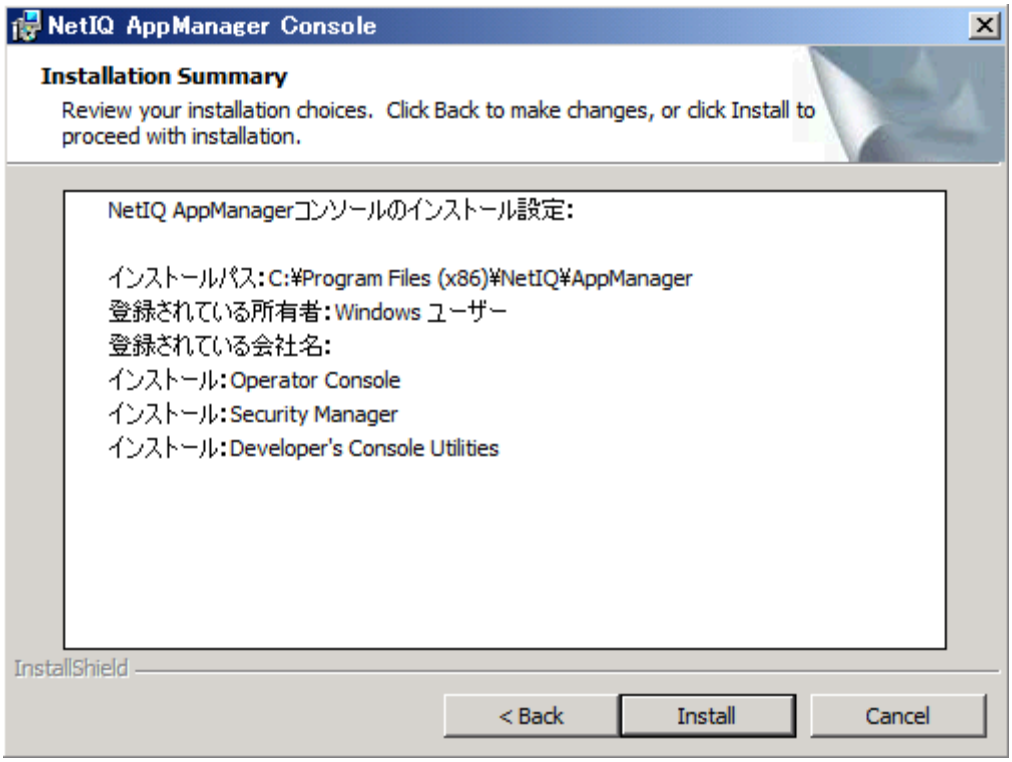
4. Welcome 画面が表示されますので、指示に従ってインストールを実行します。

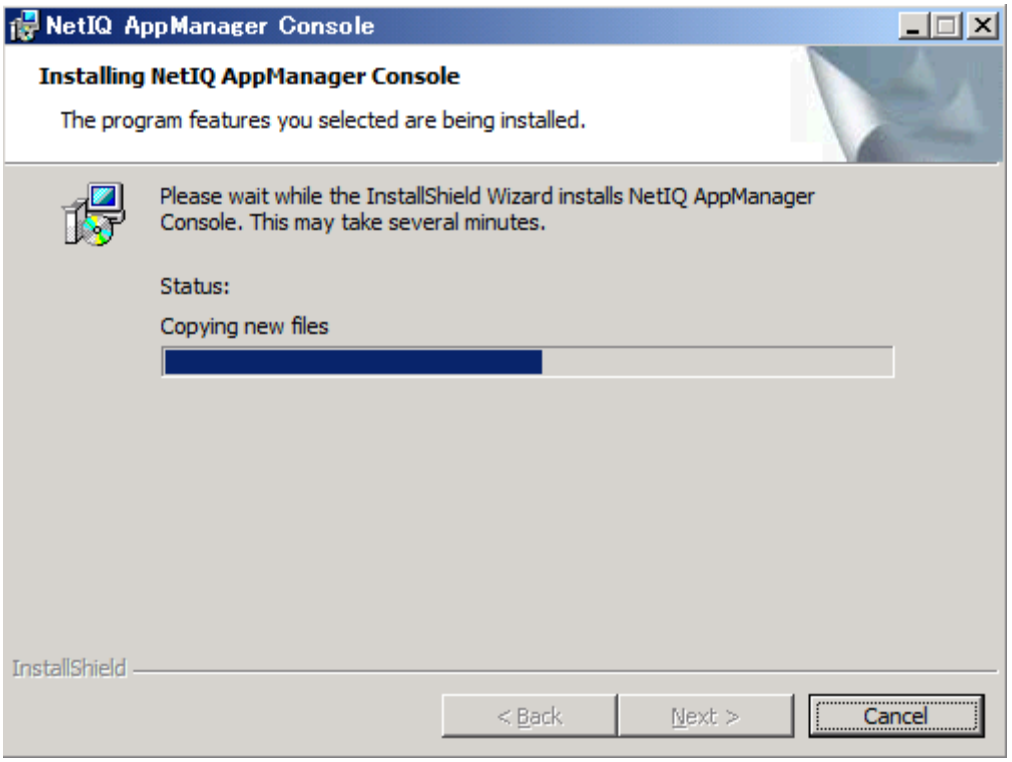


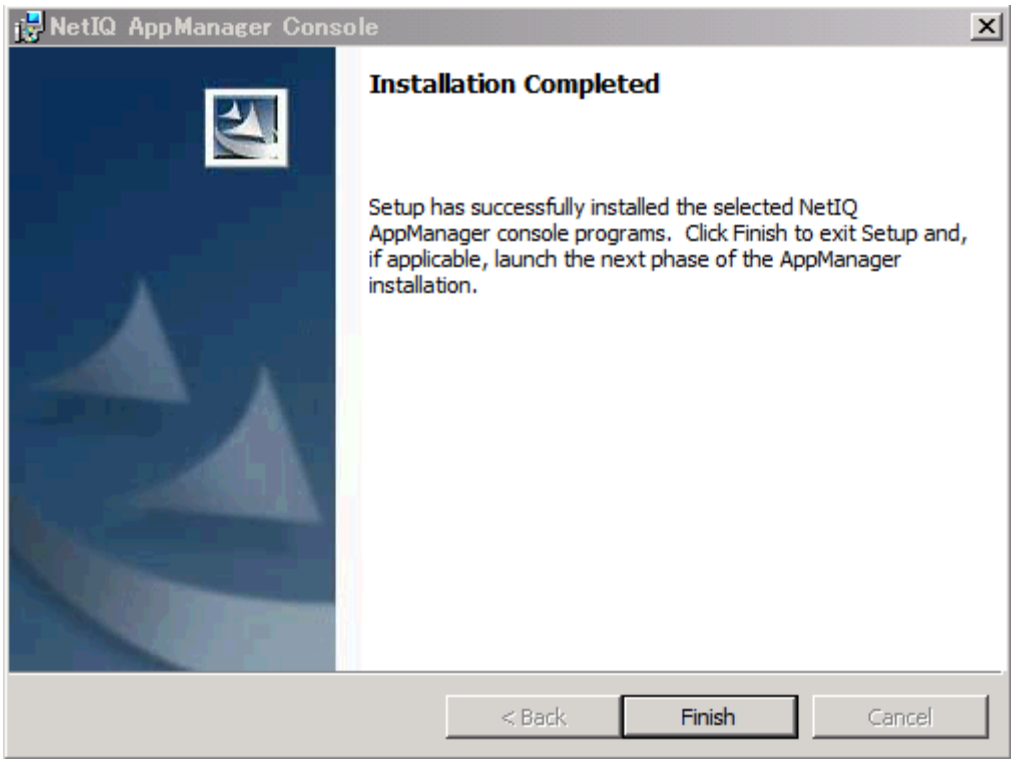



NetIQ AppManager Console
User Information
Enter information required to identify the installation.
Username:
Windows ユーザー
Organization:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

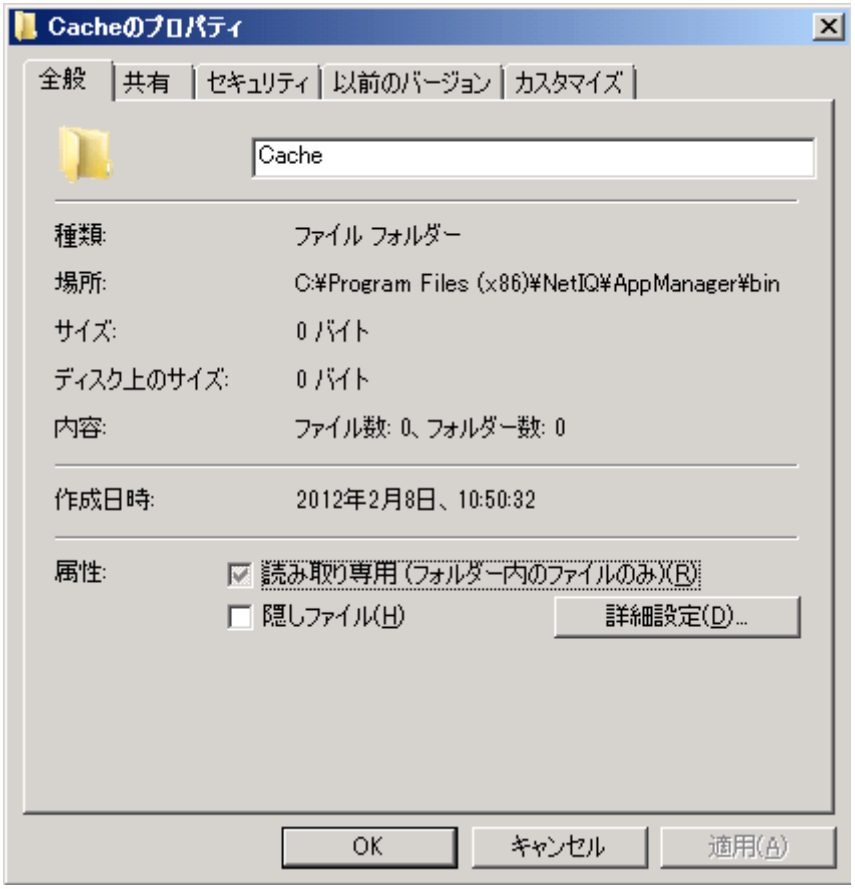

NetIQ AppManager Console
Component Selection
Choose the components to install or uninstall. Click the arrows for options.
Click an arrow to choose an installation option for the component.
NetIQ AppManager
Operator Console
Security Manager
Developer's Console Utilities
Feature Description
This feature requires 0KB on your hard drive. It has 3 of 3 subfeatures selected. The subfeatures require 55MB on your hard drive.
Choose an installation location for the components.
C:¥Program Files (x86)¥NetIQ¥
Browse...
InstallShield
Help
Space
< Back
Next >
Cancel

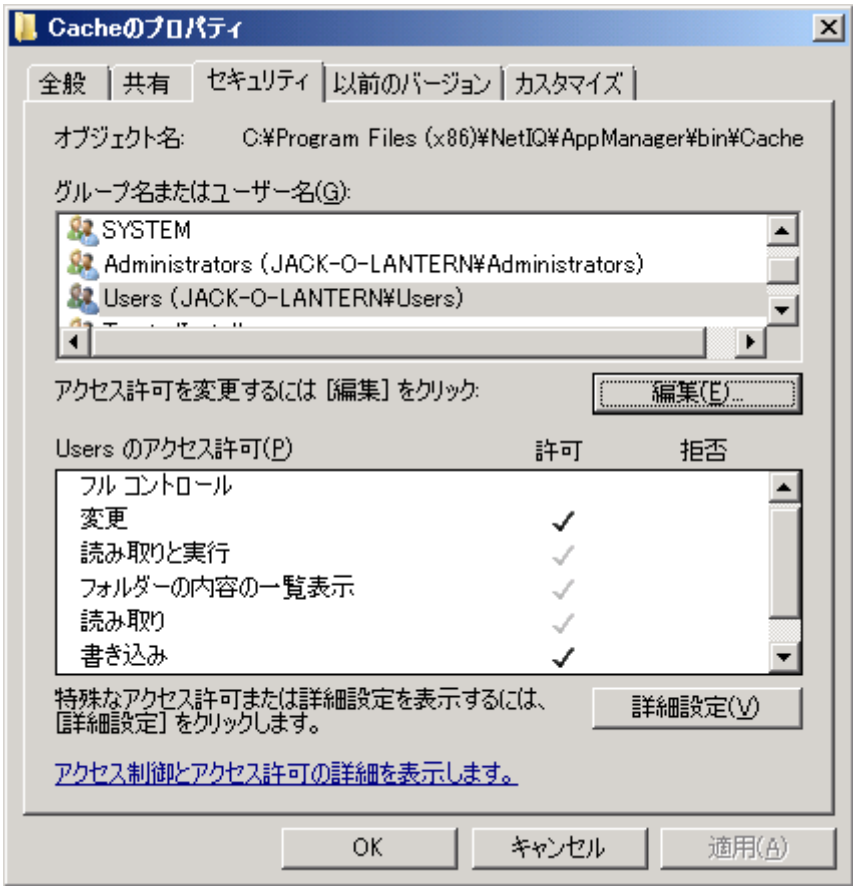

NetIQ AppManager Console
Installation Summary
Review your installation choices. Click Back to make changes, or click Install to proceed with installation.
NetIQ AppManagerコンソールのインストール設定:
インストールパス:C:¥Program Files (x86)¥NetIQ¥AppManager
登録されている所有者:Windows ユーザー
登録されている会社名:
インストール:Operator Console
インストール:Security Manager
インストール:Developer's Console Utilities
InstallShield
< Back
Install
Cancel


NetIQ AppManager Console
Installing NetIQ AppManager Console
The program features you selected are being installed.
Please wait while the InstallShield Wizard installs NetIQ AppManager Console. This may take several minutes.
Status:
Copying new files
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

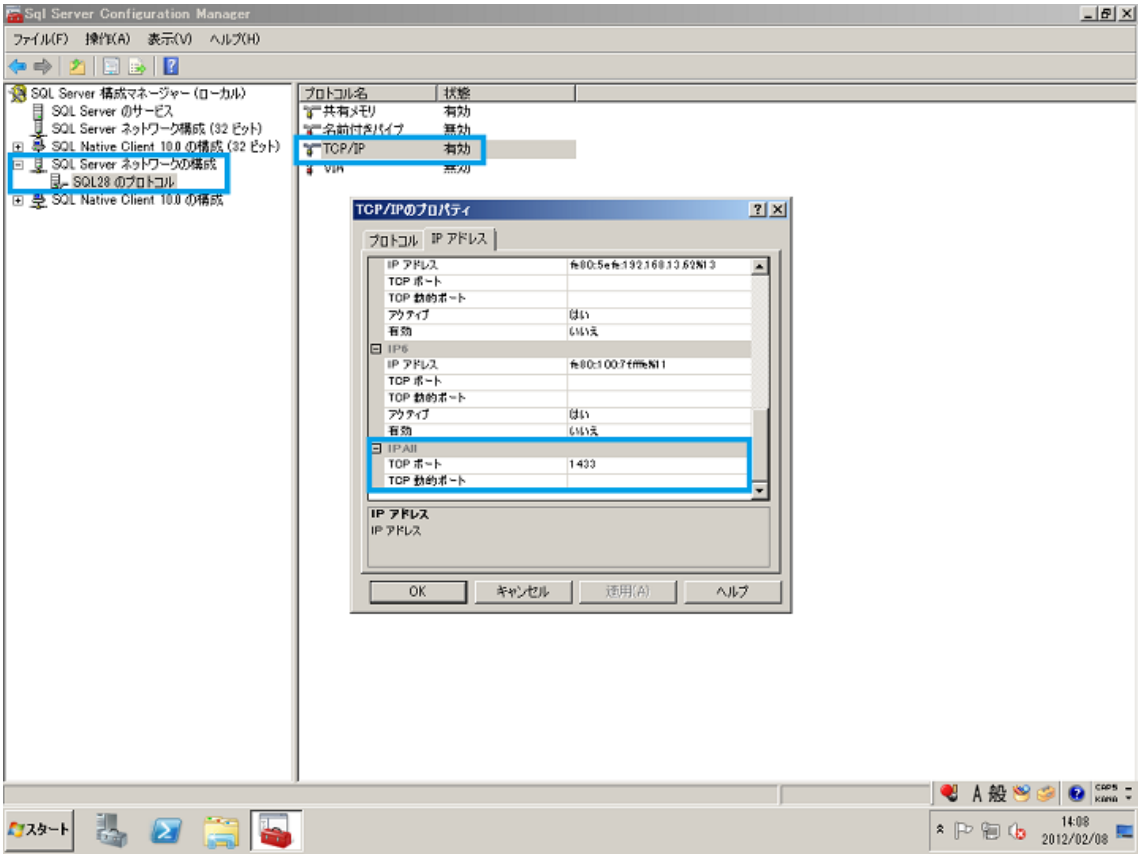

NetIQ AppManager Console
Installation Completed
Setup has successfully installed the selected NetIQ AppManager console programs. Click Finish to exit Setup and, if applicable, launch the next phase of the AppManager installation.
< Back
Finish
Cancel

5. Explorer を起動いただき、インストール フォルダ以下 NetIQ¥AppManager¥bin フォルダに Cache フォルダを作成します。作成したCacheフォルダのプロパティを開き、[セキュリティ] をクリック、[グループ名またはユーザー名]で Users を選択、[編集] を開き、[変更] [書き込み] を許可します。 拒否が優先されますので、ポリシーを適用されている場合にはご注意ください。

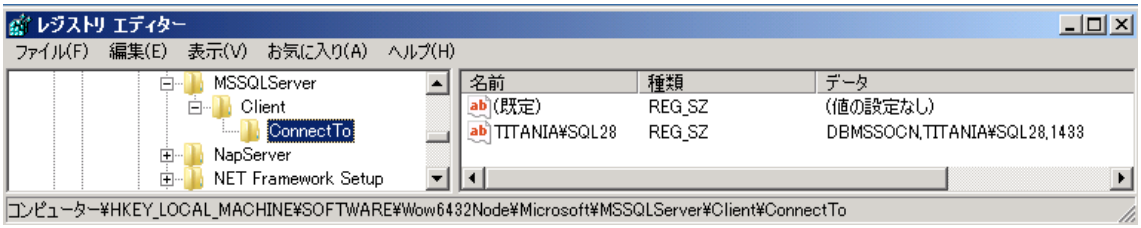



Cacheのプロパティ
全般
共有
セキュリティ
以前のバージョン
カスタマイズ
オブジェクト名:
C:¥Program Files (x86)¥NetIQ¥AppManager¥bin¥Cache
グループ名またはユーザー名(G):
SYSTEM
Administrators (JACK-O-LANTERN¥Administrators)
Users (JACK-O-LANTERN¥Users)
アクセス許可を変更するには [編集] をクリック:
編集(E)...
Users のアクセス許可(P)
許可
拒否
フル コントロール
変更
読み取りと実行
フォルダーの内容の一覧表示
読み取り
書き込み
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示するには、
[詳細設定] をクリックします。
詳細設定(V)
アクセス制御とアクセス許可の詳細を表示します。
OK
キャンセル
適用(A)

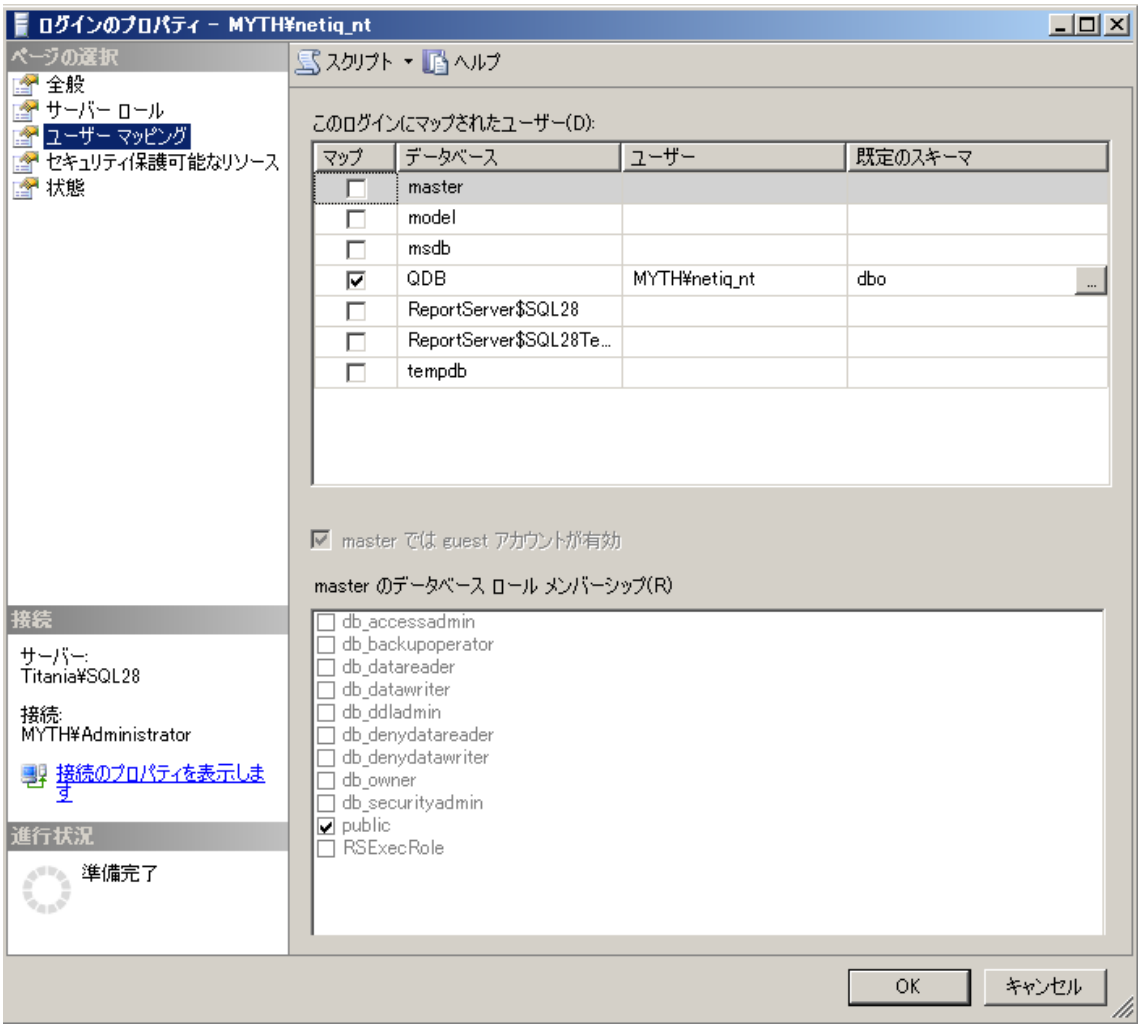
6. Regedit を起動し、リポジトリ データベース サーバへのクライアント設定を構成します。Windows 2008 R2 で X86_64 bit 版の場合 [HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Microsoft¥MSSQLServer¥Client¥ConnectTo] のキーを作成し、SQLサーバ名¥名前付きインスタンス名 の値を REG_SZ 型で新たに作成します。データは DBMSSOCN,SQLサーバ名¥名前付きインスタンス名,SQLServerの固定TCPポートです。リポジトリ データベース サーバの Microsoft SQL Server 構成マネージャにて SQL Server のTCPポートの確認と構成をしていただけます。



インストールいただくマシンから DNS または ローカルな hosts ファイルにてリポジトリ データベース サーバの名前解決ができることを事前にご確認ください。



7. Windows 認証で使用するアカウントの既定のスキーマは dbo となるように事前に SQL Server Management Studio にて設定してください。



8. リポジトリデータベースに db_owner 以上の権限を有するアカウント(saやAdministrator)を使用して［スタート］メニューから［NetIQ]-[AppManager]-[Tools & Utilities]-[Security Manager］起動します。AppManagerグループが、Administrator , Read-Only User , Standard User の表記でない時には一度 Security Manager を終了し、グループ名を調整します。



SQL Server Management Studio にて

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Administrator' where RoleName like '管理者'

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Standard User' where RoleName like '一般ユーザー'

update QDB.dbo.SRole set RoleName = 'Read-Only User' where RoleName like '読み取り専用ユーザー'

の Update 文を実行した後に、もう一度 Security Manager を起動します。

9. AppManager ユーザーをクリック、ユーザーの設定にてSQLユーザーをAppManagerユーザーに追加し、Administrator グループとします。

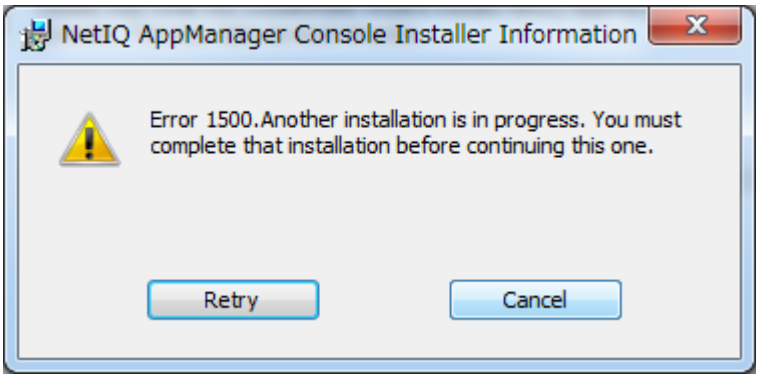
10. ［スタート］メニューから［NetIQ]-[AppManager]-[Operator Console］を起動します。Microsoft SQL Server のセキュリティが Windows 認証となっており、それにリポジトリ データベースをインストールされた場合には同じドメインに参加している PC でないと Operator Console はリポジトリデータベースにログオンできませんので、ご注意ください。



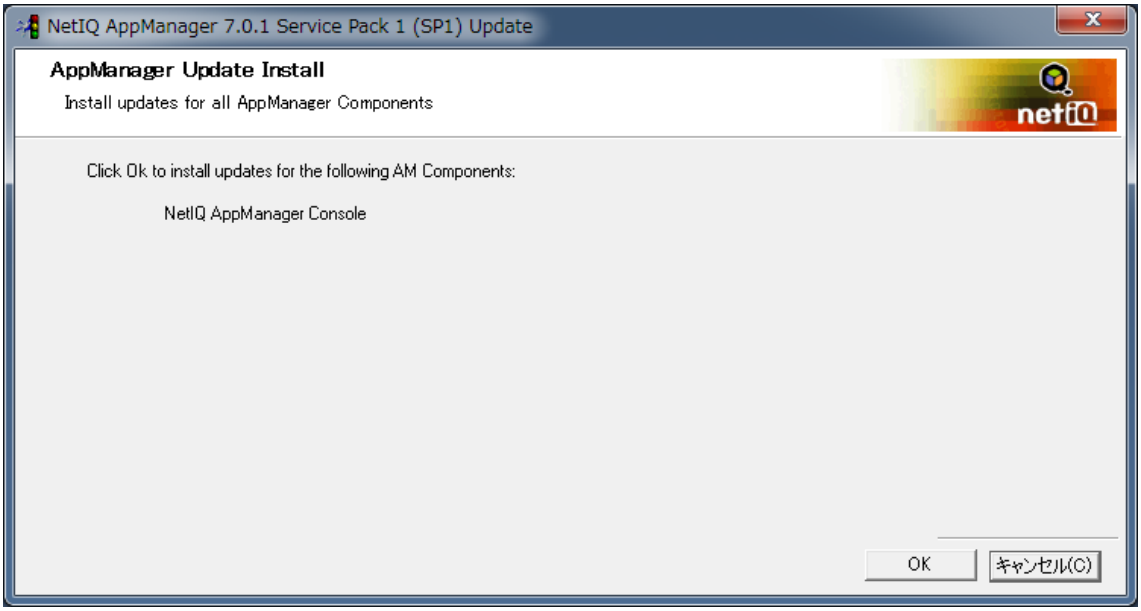
Operator Console の更新

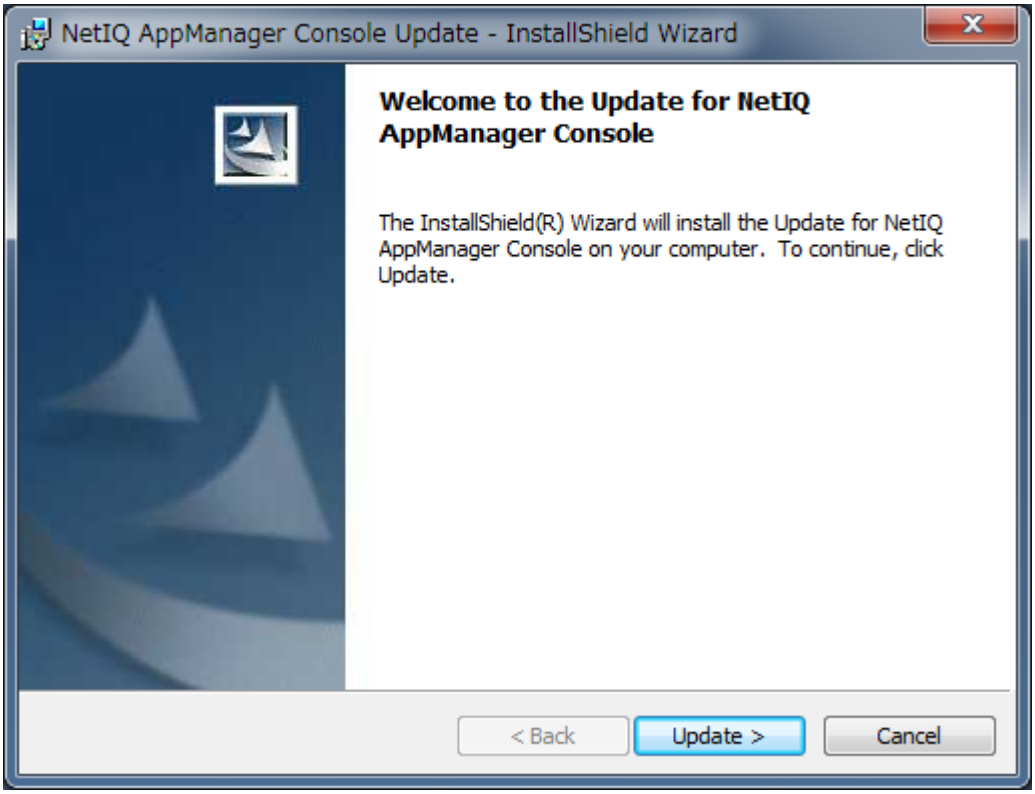
NetIQ AppManager 7.0J　Service Pack 1 と日本語パラメータの適用

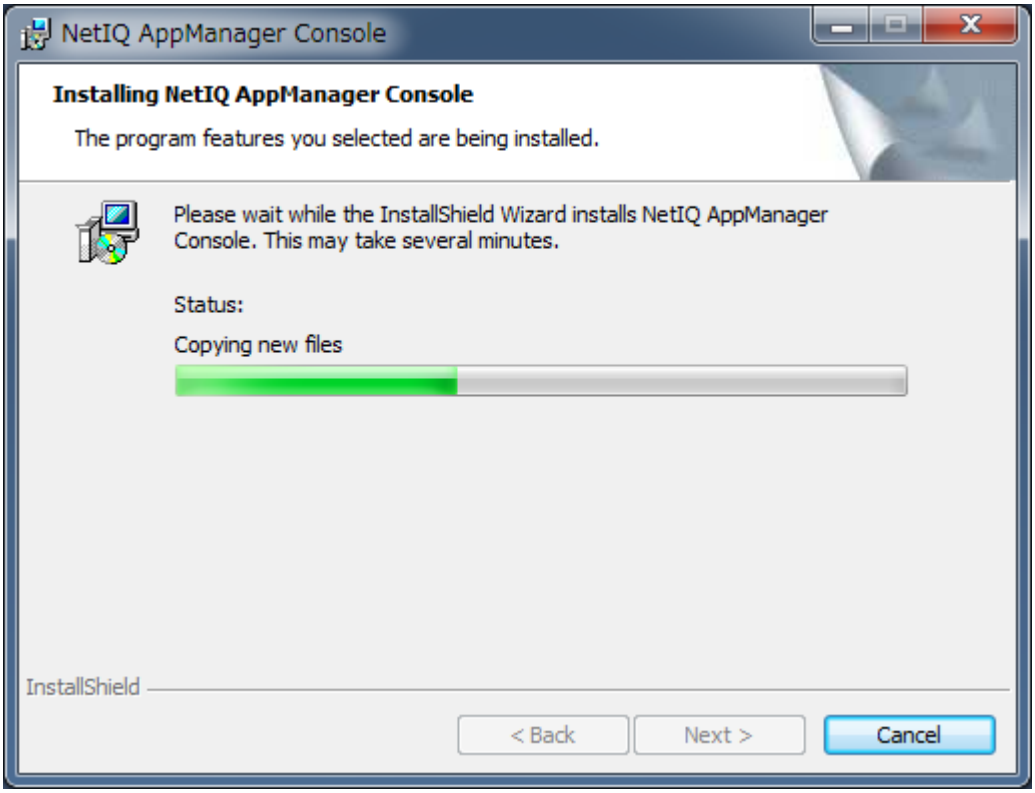
1. http://www.netiq.co.jp /support/appmanager/index.htm よりサービス パック AppManager 7.0J Service Pack1 、Hotfixes 日本語パラメータファイル、HF73148 の 3 つを取得し、適用してください。
2. Service Pack 1 を適用する前に一度ログオフし、ログオンしなおします。AM7.0Jインストール後に一度もログオフしなかった場合には、先のインストーラが未完了と判断されてしまいます。

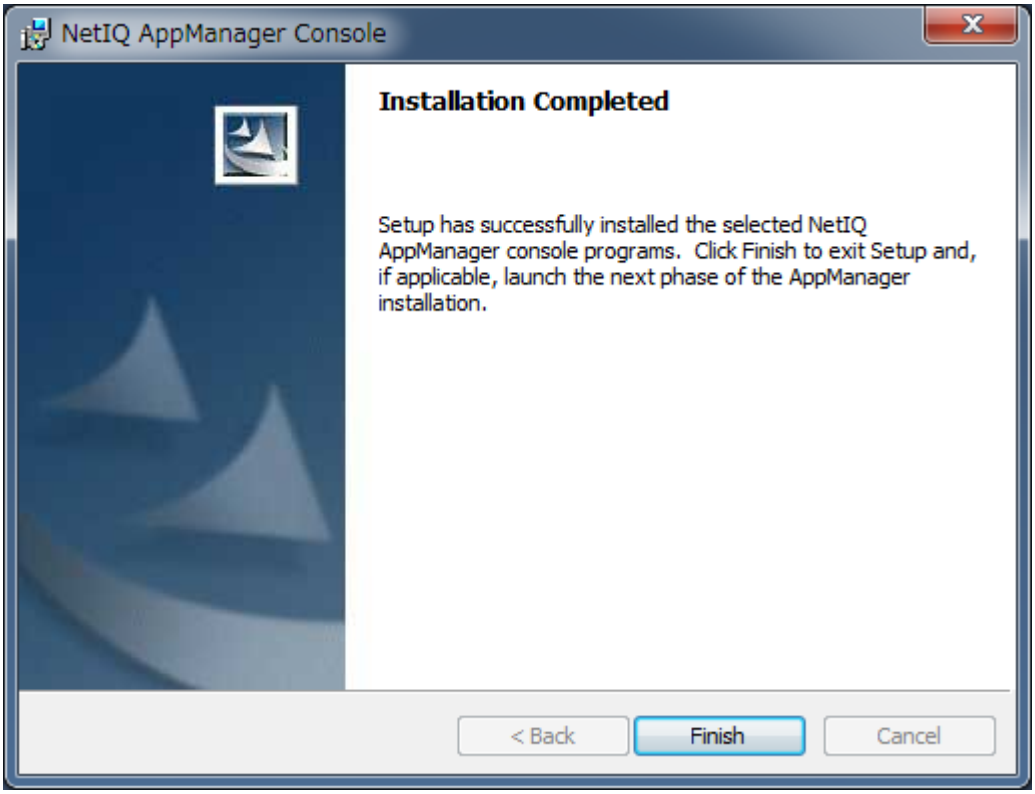


3. 自己解凍ファイルを展開後、Explorer から AM701_Update_Setup.exe を［管理者として実行…］してください。 AM701_Update_Setup.exe
4. 指示に従って Service Pack 1 を適用します。



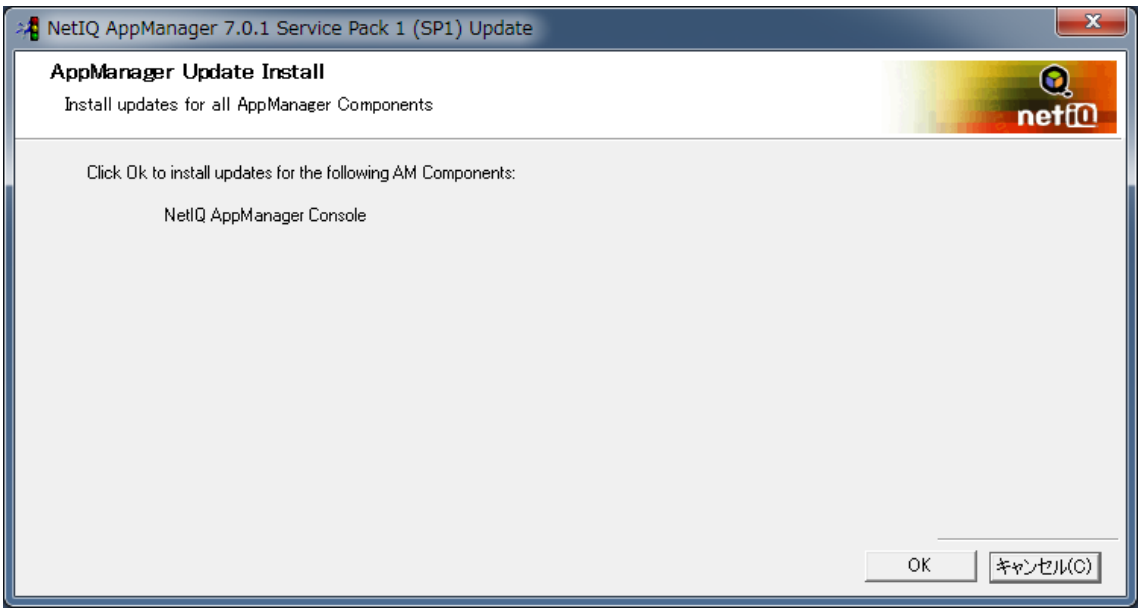

NetIQ AppManager Console Update - InstallShield Wizard
Welcome to the Update for NetIQ AppManager Console
The InstallShield(R) Wizard will install the Update for NetIQ AppManager Console on your computer. To continue, click Update.
< Back
Update >
Cancel

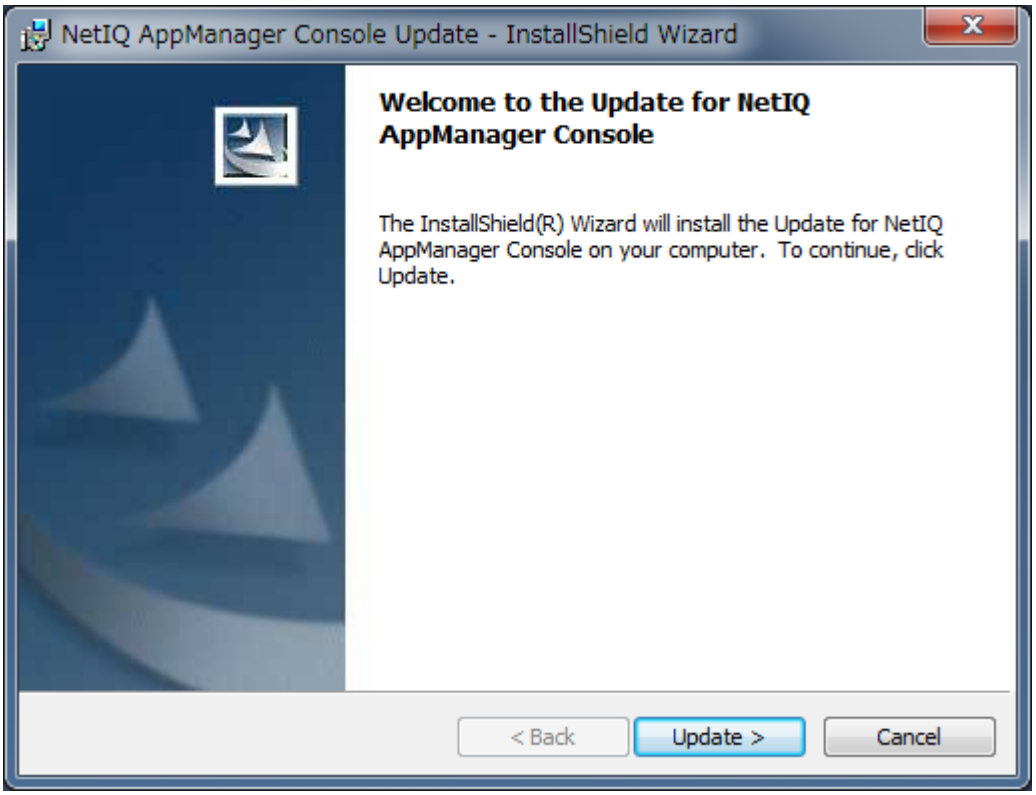

NetIQ AppManager Console
Installing NetIQ AppManager Console
The program features you selected are being installed.
Please wait while the InstallShield Wizard installs NetIQ AppManager Console. This may take several minutes.
Status:
Copying new files
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

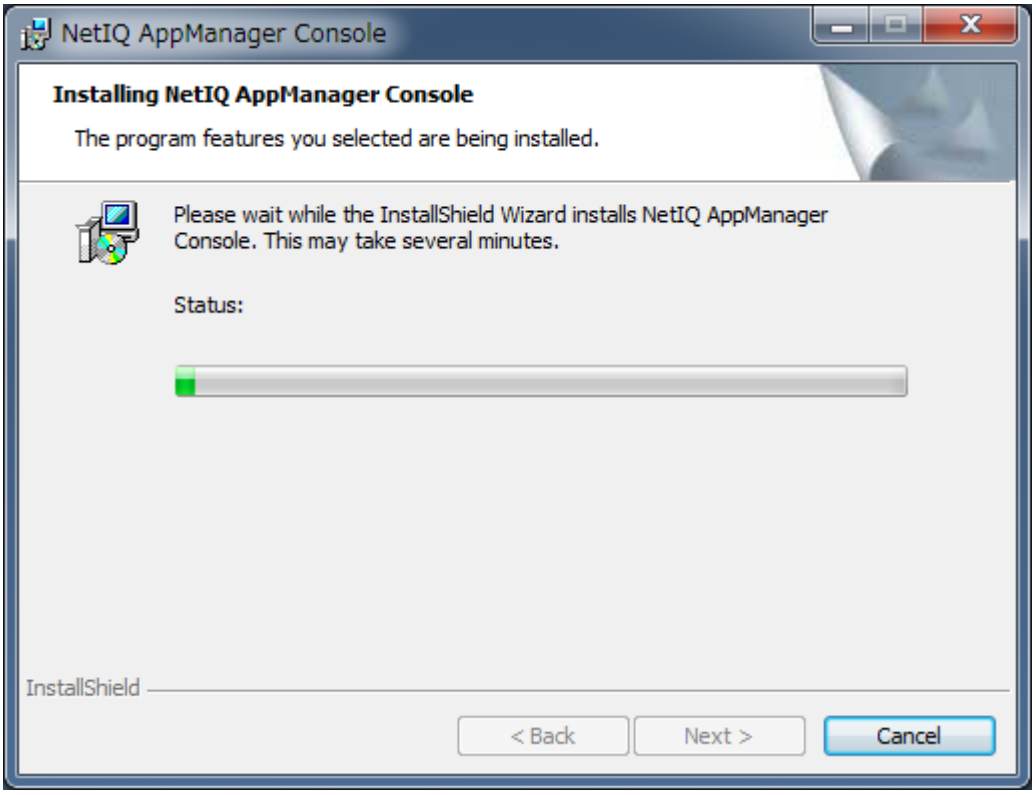


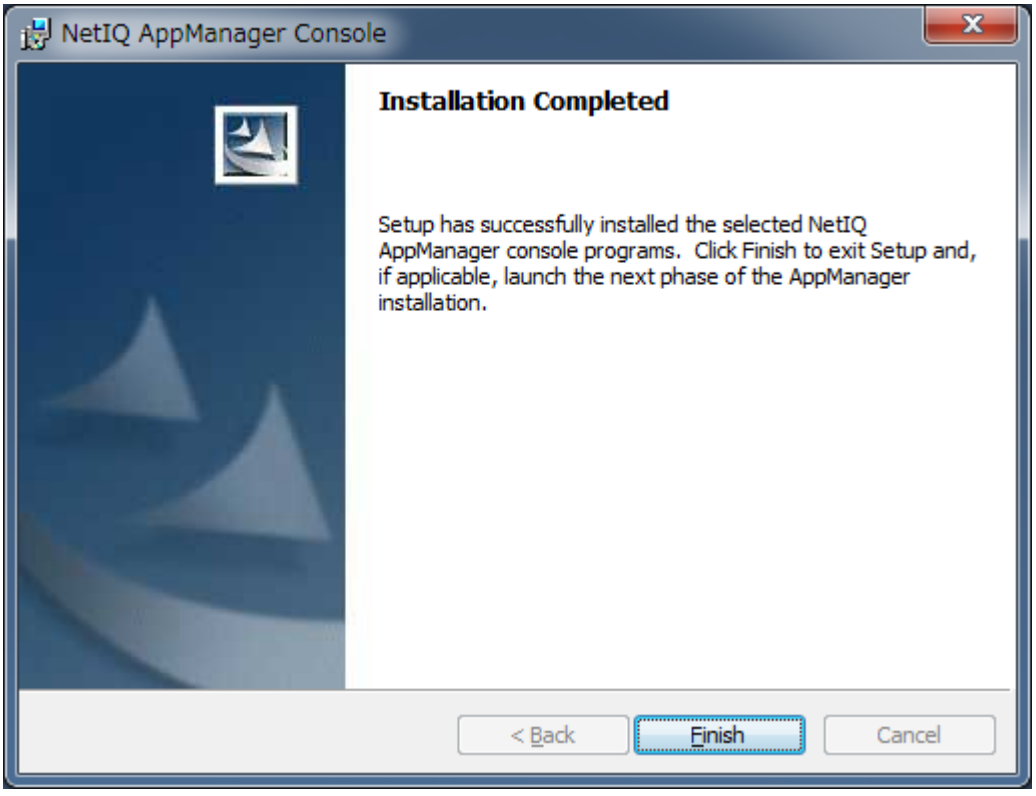
5. Operator Console をいったん終了いただき、日本語パラメータファイルを取得、解凍後、NetIQ_JPN.xml を AppManager のインストール フォルダ以下にあるNetIQ¥AppManager¥binフォルダの NetIQ_JPN.xml に上書きコピーします。
6. HF73148 を解凍、展開後、Explorer から AM701_HF73148_Setup.exe を［管理者として実行…］してください。 AM701_HF73148_Setup.exe

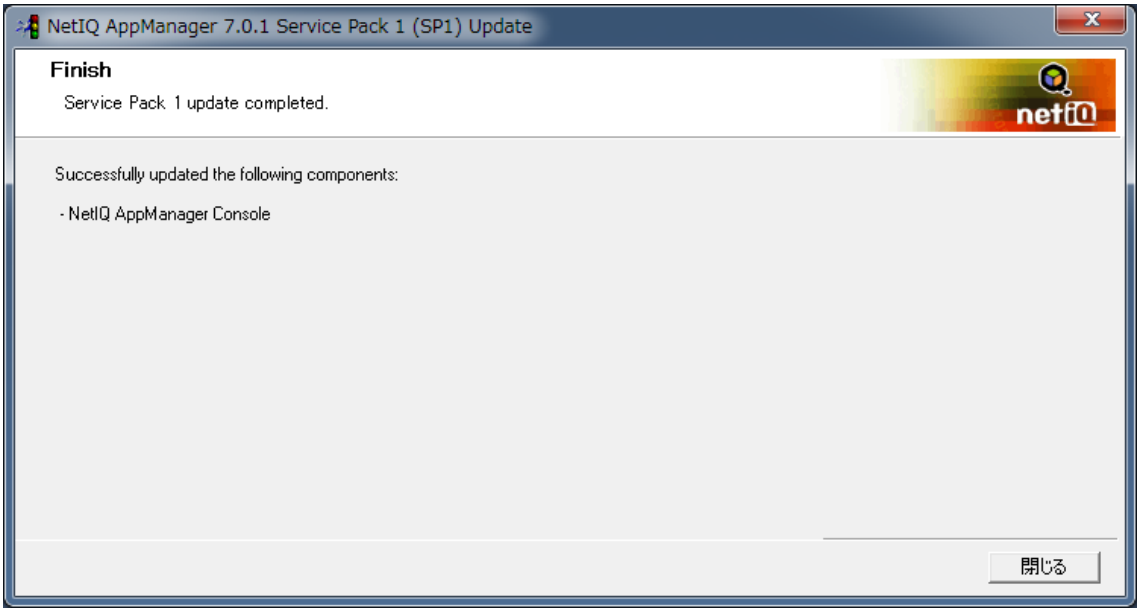
7. 指示にしたがってインストールを実施してください。



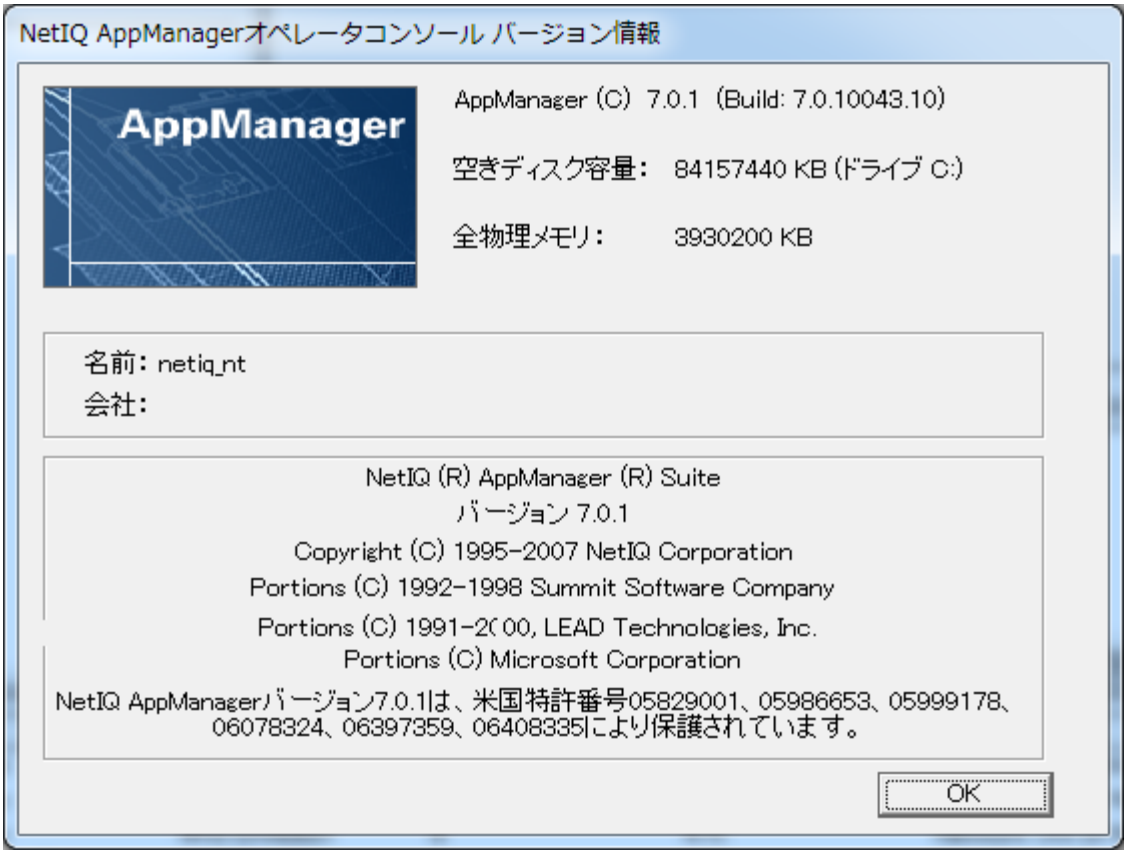



NetIQ AppManager Console
Installing NetIQ AppManager Console
The program features you selected are being installed.
Please wait while the InstallShield Wizard installs NetIQ AppManager Console. This may take several minutes.
Status:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel


NetIQ AppManager Console
Installation Completed
Setup has successfully installed the selected NetIQ AppManager console programs. Click Finish to exit Setup and, if applicable, launch the next phase of the AppManager installation.
< Back
Finish
Cancel



8. Operator Console を起動し、[ヘルプ]-[バージョン情報]をクリックし、Build: 7.0.10043.10 となっていることを確認します。



Operator Console のアドインでの制限

Windows 7, 2008 R2 でサポートされない Response Time モジュール

1. Response Time モジュールに付属する Web Recorder, URL Check Recorder はWindows 7 , 2008 R2 と Internet Explorer 9 の組合せでは、正しく動作いたしません。これは現在サポート対象外です。